

平成20年版

消防年報

第 5 3 号



芦別市消防本部



(「芦別市紋章」 昭和23年7月3日制定)

芦別市民憲章

明治の代、今の常磐町に第一のくわ音が立ちました。芦別誕生のうぶ声でした。それから代々の人たちが努力を重ね、美しい郷土をつくりました。

それをたたえ感謝するとともに、さらに立派にして次代へ渡したいものです。私たちは、この憲章をかかげて、日常生活の心がまえといたしましょう。

明るい家庭をつくり こどもに夢と誇りを持たせましょう
人間の尊さを知り 社会のきまりを守りましょう
郷土の自然を愛し 豊かなまちをきずきましょう
思いやりと親切で 住みよいまちにいたしましょう
教養を深め 体力を養い 文化の輝くまちをつくりましょう

(「芦別市民憲章」 昭和43年9月20日制定)

は し が き

この年報は、平成20年中における芦別市消防行政の実績と現勢を収録し、将来の消防体制強化と火災予防上の資料として有効に活用するため編集したものであります。

この年報を通じて市民各位の防災上の指針となり、また消防行政の検討資料として活用されるならば幸いであり、それを期待してやみません。

平成21年 3月

芦別市消防本部

目 次

あゆみ

消防の沿革	1
平成20年の動き	8

消防機構・消防予算・消防職 団員

芦別市消防機関配置図	11
芦別市の位置並びに面積・人口世帯	12
人口の推移	13
市勢に対する消防現勢との比較	13
市一般会計と消防費	13
市民と消防費並びに火災損害額	13
芦別市消防機構図	14
消防職員数・職員配置状況	15
職員年齢状況・職員勤続年数	15
歴代消防長	16
歴代消防本部次長	17
歴代消防署長	17
職員の学校及び自治研修所派遣状況	18
職員技能者数	18
消防団員定員並びに階級別実員数	18
春秋・危険業務従事者叙勲受章者名簿	19
叙位受章者名簿・褒章受章者名簿	19
消防庁長官表彰（永年勤続功労者）名簿	20
表彰状況	20
消防団幹部名・消防団員勤続年数	21
消防団員年齢状況・任免状況	22

消防施設

消防施設（建物）一覧	23
消防緊急通報指令装置	
回線構成・無線局	24
消防無線電話の配置及び呼出し名称	25
消防緊急通信指令装置系統図	26
車両現勢一覧表	27
年間車両使用状況	28
小型動力ポンプ現勢一覧表	29
ホース配置状況	29
過去5年間の主要消防施設	29
全市水利状況	30

火災統計・気象

火災の概況	31
過去5年間の出火原因調べ	31

月別火災発生状況	32
時間別火災発生状況	33
管轄区域火災発生状況	34
昭和30年以降の火災発生状況	35
月別火災等出動状況	37
風向の状況	38
過去10年間における気象の極値	38
月別気象状況	39

救急・救助

救急活動総括表	40
月別出場件数	40
時間別出場件数	41
町内別出場件数	41
管外搬送（転院・転送）出場件数	42
年齢区分別搬送人員数調	42
傷病程度別搬送人員	43
搬送人員のうち救急隊員の 行った応急処置	43
収容所要時間	44
過去5年間の出場件数及び 搬送人員の推移	44
救助出動及び活動状況	45
救急講習実施状況	45

予防・危険物

関係法令による処理件数	46
構造別、工事別、建築同意状況	47
防火対象物地区別及び項別調	48
防火対象物査察実施状況	49
防火対象物定期点検報告実施状況	50
予防査察実施指導状況（一般対象物）	51
危険物製造所等別貯蔵取扱数量	52
地区別危険物製造所等設置状況	52
危険物製造所等倍数調	53
甲種防火管理講習修了者数調	53
防火講習等実施状況	54
消防協力団体	54
消防協力団体状況	55
婦人防火クラブ及び 幼年消防クラブ状況	55
危険物安全協会・防火管理者協会 活動状況	55

消 防 の 沿 革

大正	3年	7月	私立下班溪（常磐）火災予防組合発足 組合長 大道栄蔵氏
	6年	2月	私立芦別消防組発足 組頭 大西六三郎氏
	7年	5月	公立芦別消防組発足 組頭 大西六三郎氏
	8年	6月	私立野花南消防組発足 組頭 明田小四郎氏
昭和	10年	12月	公立芦別消防組成績優秀にて金馬廉1条使用認許
	12年	5月	公立芦別消防組2部制を採用
	3年	4月	私立新城消防組発足 組頭 森 清一氏
		4月	芦別大火、本町市街中央部付近より出火、158棟焼失
	4年	9月	公立芦別消防組成績優秀にて、金馬廉2条使用認許
	8年	4月	公立芦別消防組組頭 大西六三郎氏死亡に伴い、後任に寺崎隆氏就任
	10年	4月	公立班溪消防組発足 組頭 谷口与作氏
	11年	1月	公立芦別消防組組頭 寺崎隆氏退任に伴い、後任に関塚清蔵氏就任
	14年	4月	芦別消防組を芦別警防団と改組第1分団(芦別警防団)第2分団(常磐警防団)第3分団(新城警防団)第4分団(野花南警防団)とし、警防団長 豊島亀三郎氏就任
		18年	1月
		2月	芦別警防団第1分団に常備部設置
	19年	4月	三井芦別警防団設置
		4月	芦別警防団第5分団設置(上芦別市街)
	22年	9月	芦別警防団を芦別消防団と、三井芦別警防団を三井芦別消防団と改組
	23年	4月	明治芦別消防団設置
		4月	三菱芦別消防団、高根炭鉱消防団設置
	25年	1月	高根炭鉱消防団を芦別消防団第6分団へ編入
		4月	油谷芦別消防団設置
27年	6月	芦別消防団創立35周年記念式典	
28年	6月	芦別消防団常備員増員 定員22名	
29年	4月	市制施行に伴い、北海道消防協会芦別地方支部設立	
	12月	芦別消防団第1分団に望楼設置	
30年	4月	芦別消防団常備員 定員32名	
	12月	芦別市消防本部・署設置 消防職員定員32名 消防長大西駒太郎氏 消防署長小山田敬次郎氏 就任	
32年	12月	芦別市消防本部・署に消防用短波無線電話装置設置	
33年	4月	消防職員増員 定員36名	
	12月	芦別消防団長、大西駒太郎氏退任に伴い、服部富一氏就任	
34年	4月	芦別消防団、日本消防協会より成績優秀にて竿頭綬を受賞	
	12月	消防長、大西駒太郎氏退任に伴い、後任に市助役、沢内精治氏事務取扱	
35年	10月	消防署長、小山田敬次郎氏退任に伴い、後任に島田好男氏就任	
38年	4月	消防職員増員 定員40名	
	7月	油谷、明治、三菱各消防団、芦別消防団に編入、第7分団(油谷)第8分団(明治)第9分団(三菱)となる	
	7月	同上3ヶ分団に消防署機関員出張所設置	
	7月	芦別消防団第4分団滝里支部設置	
	12月	芦別消防団長、服部富一氏退任に伴い、大林唯一氏就任	
39年	5月	日本損害保険組合協会より消防ポンプ自動車1台寄贈	

- 昭和39年 7月 芦別消防団第8分団(明治)第9分団(三菱)を第5分団に、三井芦別消防団を芦別消防団に統合し、第8分団(西芦別)第9分団(頼城)第10分団(三井黄金)とし、消防署西芦別分遣所並びに頼城機関員出張所を設置
- 7月 消防職員増員 定員49名
- 40年 6月 芦別市危険物安全協会設立
- 11月 芦別消防団第7分団消防庁舎落成
- 12月 芦別市消防署上芦別分遣所並びに芦別消防団第5分団消防庁舎新築落成
- 41年 4月 芦別市人事異動により消防署長、島田好男氏市役所に出向(市総務課長に発令)後任に菅田英太郎氏就任
- 5月 芦別消防団第6分団(高根)に消防署機関員出張所設置
- 9月 消防長事務取扱、沢内精治氏退任
- 9月 消防長職務代理者として署長、菅田英太郎氏発令
- 12月 芦別市消防署常磐機関員出張所並びに芦別消防団第2分団消防庁舎新築落成
- 42年 5月 消防職員増員 定員50名
- 8月 芦別消防後援会連合会設立
- 11月 芦別市防火管理者研究会設立
- 11月 芦別消防団第6分団高根炭鉱閉山に伴い、同地域を芦別消防団第1分団管轄区域に編入
- 12月 芦別消防団第10分団(三井黄金)に消防署機関員出張所設置、消防ポンプ自動車配置
- 12月 消防用無線電話装置SSB方式に変更し、あわせて移動局3基増設
- 12月 芦別消防団長、大林唯一氏辞任に伴い、大西武一氏就任
- 43年 4月 芦別消防団第4分団滝里支部を芦別消防団第6分団と改組
- 4月 芦別消防団定員370名から310名に改組
- 12月 消防本部に救急車購入配置、救急業務開始
- 44年 8月 芦別市総合庁舎新築落成に伴い、消防庁舎併設、消防本部・署並びに芦別消防団第1分団新庁舎へ移転
- 8月 芦別市消防設立50周年記念式典並びに合同消防演習実施
- 12月 水槽付消防ポンプ自動車購入、消防署に配置
- 45年 6月 元消防長、大西駒太郎氏春の叙勲、勲五等瑞宝章受章
- 10月 芦別市人事異動により消防長職務代理者、菅田英太郎氏が消防長兼消防署長に発令
- 11月 元芦別消防団分団長、川島千代作氏秋の叙勲、勲七等単光旭日章受章
- 12月 水槽付消防ポンプ自動車購入、芦別消防団第5分団に配置
- 46年 5月 芦別消防団成績優秀により北海道消防協会から表彰旗授与
- 6月 北海道消防協会空知地方支部中空知支部発足に伴い、芦別地方支部を解消、中空知支部に加入
- 8月 広報車購入、消防本部・署に配置
- 10月 市行政機構改革に伴い、消防本部次長に 原田 最氏就任
- 10月 消防署上芦別分遣所及び西芦別分遣所を上芦別出張所及び西芦別出張所と改組
- 12月 化学消防ポンプ自動車購入、消防署西芦別出張所に配置
- 12月 芦別消防団第6分団に消防ポンプ自動車配置
- 47年 7月 三井芦別鉱業所黄金鉱閉山に伴い芦別消防団第10分団解団、同地域を芦別消防団第2・第3分団管轄区域に編入
- 8月 北海道消防操法訓練大会に芦別消防団第1分団出場(ポンプ車の部)
- 9月 北海道消防協会空知地方支部中空知支部連合消防演習実施
- 47年 11月 消防ポンプ自動車購入、消防署に配置

- 昭和48年 3月 消防無線同報装置（非番職員招集用）30基設置
4月 芦別消防団定員310名から300名に改正
6月 北海道消防協会中空知支部より無火災表彰を受賞
7月 芦別市人事異動により消防長兼署長 菅田英太郎氏市立芦別病院に出向
（事務長に発令）消防長後任に 高島勇太郎氏就任
7月 芦別市消防本部・署人事異動により本部次長 原田 最氏消防署長を兼ね
て発令
9月 消防用無線電話装置をSSB方式からVHF方式に変更し、あわせて移動局
9基増設
12月 芦別市消防署新城機関員出張所並びに芦別消防団第3分団消防庁舎新築落成
12月 消防ポンプ自動車購入、芦別消防団第1分団に配置
- 49年 4月 芦別消防団条例一部改正により、第7分団（油谷）を解団、同地域を第1分団
管轄区域に編入
4月 芦別消防団定員300名から285名に改正
4月 第7分団解団に伴い消防署油谷機関員出張所閉鎖
4月 消防無線同報装置（非番職員招集用）20基設置
6月 消防職員増員 定員55名
8月 芦別市人事異動により消防本部次長兼消防署長 原田 最氏出向（学校給
食センタ - 事務長）、消防署長に柳原次郎氏就任
8月 芦別市消防本部、消防署組織規則一部改正により、総務係、予防係、調査
係警防係、施設係の5係に改組
10月 芦別市消防署長 柳原次郎氏消防本部次長を兼ねて発令
12月 消防無線同報装置（非番職員招集用）5基設置、全職員住宅に配置完了
- 50年 6月 芦別市消防本部・署開庁20周年記念式典
10月 水槽付消防ポンプ自動車購入、消防署頼城機関員出張所に配置
11月 芦別市消防署野花南機関員出張所並びに芦別消防団第4分団、消防
庁舎新築落成
- 51年 1月 消防救急指令装置C型1台購入、消防本部・署に配置
3月 消防ポンプ自動車購入、消防署上芦別出張所に配置
4月 消防長 高島勇太郎氏退任、後任に芦別市助役 島田好男氏消防長事務取扱
4月 社団法人東日本自動車工業会より救急車2B型1台寄贈を受け、消防署に
配置
8月 消防ポンプ自動車購入、消防署常磐機関員出張所に配置
- 52年 4月 芦別市人事異動により、芦別市助役 島田好男氏消防長事務取扱を解き、
消防長後任に 熊谷文一氏就任
6月 北海道消防協会中空知支部より無火災表彰を受賞
8月 社団法人日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車1台寄贈を受け、
消防署に配置
8月 消防ポンプ自動車購入、消防署新城機関員出張所に配置
9月 芦別市消防署組織規程の一部改正により、頼城機関員出張所を頼城出張所
に名称変更
- 11月 芦別市消防署西芦別出張所並びに芦別消防団第8分団消防庁舎新築落成
- 53年 6月 北海道消防協会中空知支部より無火災表彰を受賞
8月 芦別市消防署長兼本部次長 柳原次郎氏辞任
9月 芦別市消防本部・署人事異動により、大関富雄氏消防署長兼本部次長に
就任

- 昭和53年 9月 消防ポンプ自動車購入、消防署野花南機関員出張所に配置
 11月 芦別市消防署ホ - ス乾燥塔設置
 12月 芦別市消防署頼城出張所並びに芦別消防団第9分団消防庁舎新築落成
- 54年 7月 芦別市人事異動により、消防長 熊谷文一氏市役所に出向（市経済部長に発令）消防長後任に 石川 孚氏就任
 10月 消防ポンプ自動車購入、消防署頼城機関員出張所に配置
 10月 富良野信用金庫芦別支店から消防用携帯無線機（ゼネラルCP - 51型出力1W）6台（100万円）の寄贈
 12月 芦別市消防署上芦別出張所並びに芦別消防団第5分団消防庁舎新築落成
- 55年 9月 消防ポンプ自動車購入、芦別消防団第1分団に配置
- 56年 8月 消防ポンプ自動車購入、消防署西芦別出張所に配置
 8月 北海道消防協会空知地方支部中空知支部連合消防演習
 11月 元消防団副団長 古田松雄氏秋の叙勲 勲六等単光旭日章受章
 12月 芦別市消防署長兼本部次長 大関富雄氏退任
 12月 芦別市消防本部・署人事異動により、武田榮治氏消防署長兼本部次長に就任
- 57年 3月 芦別市消防長 石川 孚氏退任
 4月 芦別市人事異動により、消防長 松浦威雄氏（市民部長）就任
 5月 指令車兼広報車（トヨタクラウン）購入、消防署に配置
 5月 元芦別消防団分団長 川村千代吉氏春の叙勲 勲七等単光旭日章受章
 8月 小型動力ポンプ付水槽車（型）購入、消防署に配置
- 58年 5月 消防団長 大西武一氏春の褒章 藍綬褒章受章
 7月 芦別市消防本部・署組織規則一部改正により、消防本部は総務係、予防係保安係の3係、消防署は警防係、施設係、救急救助係の3係に改組。上芦別西芦別、頼城出張所をそれぞれ分遣所に名称変更
 7月 芦別市消防本部・署人事異動に伴い、消防署長兼本部次長武田榮治氏の消防署長を解き、消防署長後任に 日下 勲氏就任
 8月 水槽付消防ポンプ自動車（型）購入、消防署西芦別分遣所に配置
 9月 救急自動車（2B型）購入、消防署に配置
- 59年 3月 元消防団長 大林唯一氏より消防団旗の寄贈
 4月 三笠市と消防相互応援協定を締結
 4月 消防互助年金制度施行
 5月 三井芦別鉱業所より救急自動車（2B型）の寄贈を受け、消防署に配置
 6月 消防団長 大西武一氏海外消防事情視察旅行
 6月 北海道消防協会中空知支部より無火災表彰を受賞
 8月 水槽付消防ポンプ自動車購入、消防署上芦別分遣所に配置
- 60年 1月 芦別市消防長 松浦威雄氏退任
 1月 芦別市人事異動により 茶木光義氏（福祉事務所保護課長）消防長に就任
 1月 芦別消防団長 大西武一氏退任
 2月 芦別消防団人事異動により団長 小西修身氏（副団長）就任
 6月 第2分団公設消防設立50周年記念式典実施
 6月 芦別消防団定員285名から250名に改正
 7月 新城地区婦人防火クラブ結成
 7月 北海道消防操法訓練大会に芦別消防団第1分団出場（小型ポンプの部）
 8月 消防ポンプ自動車（CD - 型）購入、芦別消防団第1分団に配置
 9月 芦別市危険物安全協会創立20周年記念式典実施

- 昭和60年11月 新城地区無火災2,000日達成式
- 61年 8月 芦別市滝里ダム建設に伴い、芦別消防団第6分団解団、同地域を芦別消防団第4分団管轄区域に編入
- 9月 芦別消防団定員250名から235名に改正
- 10月 芦別消防団第6分団（滝里）解団に伴い、第8分団（西芦別）を第6分団に、第9分団（頼城）を第7分団に改組
- 62年 3月 芦別市消防署長 日下 勲氏、芦別消防団 分団長 中村 清氏消防庁長官永年勤続功労章受章
- 3月 芦別市消防長 茶木光義氏退任
- 3月 芦別市人事異動により、本部次長 武田榮治氏消防長に就任（本部次長事務取扱）
- 5月 芦別市防火管理者協会創立20周年記念式典
- 6月 石狩川水防演習参加（滝川市）
- 63年 3月 芦別消防団副分団長 伊藤 研氏消防庁長官永年勤続功労章受章
- 5月 元芦別消防団副団長 今野正信氏春の叙勲 勲五等瑞宝章受章
- 5月 日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受け、消防署に配置
- 平成 元年 1月 芦別市面積、869、13km²から865、07km²に改訂
- 3月 芦別消防団分団長 野寺雄治氏 副分団長 帰山和雄氏消防庁長官永年勤続功労章受章
- 3月 芦別市消防署長 日下 勲氏退任
- 4月 芦別市人事異動により、本部次長 清澤英雄氏（福祉事務所保護課長）就任
- 4月 芦別市消防本部・署人事異動により、佐々木久氏消防署長に就任
- 4月 芦別消防団を芦別市消防団に名称を改名
- 8月 芦別市連合消防演習を芦別市消防演習に名称を改名
- 9月 救助工作車（1型）購入、消防署に配置
- 9月 芦別市消防団第5分団設立50周年式典
- 2年 2月 日本消防協会平成元年度定例表彰に芦別市消防団が優良消防団として表彰旗授与
- 10月 水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）購入、芦別市消防団第4分団に配置
- 11月 北海道共済農業協同組合連合会より救急自動車（ハイエース2B）の寄贈を受け、消防署に配置
- 12月 広報車（ハイエースバン）購入、消防署に配置
- 3年 2月 北海道広域消防相互応援協定に係る調印
- 6月 芦別市消防長 武田榮治氏 芦別市消防団分団長 森田迪男氏消防庁長官永年勤続功労章受章
- 7月 芦別市消防本部・署組織規則一部改正により消防本部は総務課・予防課の2課、消防署は警防第1課・警防第2課の2課に改組
- 8月 消防ポンプ自動車購入、芦別市消防団第3分団に配置
- 11月 みどり幼稚園幼年消防クラブ発会式
- 4年 1月 芦別市消防団女性消防団員入団式
- 3月 芦別市消防長 武田榮治氏退任
- 4月 芦別市人事異動により本部次長 清澤英雄氏消防長に、石川正義氏（財政課財政係長）本部次長に就任
- 6月 芦別連合消防後援会25周年記念式典
- 8月 水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型）購入、消防署に配置
- 平成 5年 3月 福住婦人防火クラブ結成式

- 平成 5年 3月 常磐婦人防火クラブ結成式
6月 消防指令車（トヨタクラウンスーパーDX）購入
6月 北海道消防協会空知地方支部中空知連合消防演習実施
10月 開基100周年市制施行40周年記念式典実施
11月 小型動力ポンプ付積載車購入、芦別市消防団第2分団に配置
6年 4月 芦別市人事異動により、本部次長 石川正義氏 市選挙管理委員会に出向（事務局長）、消防署長 佐々木久氏 本部次長兼務発令
5月 元芦別消防団長 大西武一氏春の叙勲 勲五等瑞宝章受章
7年 3月 芦別市消防団副団長 小野寺徳雄氏 消防庁長官永年勤続功労章受章
3月 芦別市消防長 清沢英雄氏退任
4月 芦別市人事異動により 酒谷孝一氏（水道課長）消防長に就任
4月 元芦別市消防団副団長 中村清氏春の叙勲 勲六等単光旭日章受章
8年 3月 高規格救急自動車購入、消防署に配置
7月 野花南婦人防火クラブ結成式
10月 芦別市消防本部消防職員委員会設立
11月 消防ポンプ自動車（CD-I型）購入、上芦別分遣所に配置
9年 3月 芦別市消防団長 小西修身氏 消防庁長官永年勤続功労章受章
3月 芦別市消防長 酒谷孝一氏退任
4月 芦別市人事異動により、千葉昭夫氏（財政課長）消防長に就任
10月 芦別市防火管理者協会創立30周年記念式典
12月 前芦別市消防団本部部長 帰山和雄氏秋の叙勲 勲六等瑞宝章受章
10年 3月 自治体消防50周年記念式典（東京都）
3月 芦別市消防本部次長 佐々木久氏 芦別市消防団副団長 松本豊氏 消防庁長官永年勤続功労章受章
4月 芦別市消防本部・署組織規則一部改正により、消防本部は総務課・予防課の2課3係、消防署は警防第1課・警防第2課の2課4係に改組
5月 道道美唄・富良野線富芦トンネル合同防災訓練（5月20日開通）
7月 自治体消防制度50周年記念・平成10年度芦別市消防演習
11年 3月 芦別市消防本部次長兼署長 佐々木久氏退任
4月 芦別市消防本部・署人事異動により、戸梶宣孝氏本部次長兼消防署長に就任
5月 消防団長 小西修身氏春の褒章 藍綬褒章受章
7月 芦別市人事異動により、消防長 千葉昭夫氏 市役所に出向（総務部付）消防長後任に 小塚芳治氏就任
12年 1月 消防緊急通信指令施設 型購入、消防本部・署に設置
3月 芦別市消防長 小塚芳治氏退任
4月 芦別市人事異動により、佐々木正昭氏（保健福祉部保健施設課長）消防長に就任
11月 北海道消防表彰で芦別市消防団が優良消防団として竿頭綬を受賞
11月 元芦別市消防団分団長 野寺雄治氏秋の叙勲 勲六等瑞宝章受章
11月 小型動力ポンプ付水槽車購入、消防署に配置
11月 財団法人日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（CD-型）1台寄贈を受け、消防署に配置
13年 3月 芦別市消防本部次長兼署長 戸梶宣孝氏退任
4月 芦別市消防本部・署人事異動により、熊谷憲康氏本部次長兼消防署長に就任
13年 5月 元芦別市消防団副団長 森田迪男氏春の叙勲 勲六等単光旭日章受章

- 平成 13 年 7 月 北海道消防操法訓練大会に芦別市消防団出場（ポンプ車の部）
- 14 年 4 月 芦別市消防団長 小西修身氏 北海道消防協会副会長に就任
5 月 芦別市消防団副団長 古田克志氏 消防庁長官永年勤続功労章受章
7 月 芦別市人事異動により、消防長佐々木正昭氏市役所に出向（保健福祉部長に
発令）消防長後任に 森貞雄氏就任
- 15 年 3 月 高規格救急自動車購入、消防署に配置
4 月 芦別市消防本部・署組織規則一部改正により消防本部は予防課を 2 係に
改組、消防署は西芦別分遣所閉鎖
5 月 北海道道ドクターヘリ運航調整研究会協定書調印
7 月 北海道消防協会空知地方支部中空知分会連合消防演習実施
- 11 月 元芦別市消防団分団長 伊藤研氏秋の叙勲 瑞宝単光章受章
- 16 年 3 月 芦別市消防団分団長 野原彬氏 消防庁長官永年勤続功労章受章
3 月 芦別市消防団長 小西修身氏退任
4 月 芦別市消防団人事異動により団長 古田克志氏（副団長）就任
5 月 元芦別市消防本部次長 佐々木久氏危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章受章
8 月 折りたたみ式アルミボート購入、署に配置
- 10 月 芦別市消防団定員 235 名から 215 名に改正
- 17 年 3 月 芦別市消防団副団長中内紘治氏消防庁長官永年勤続功労章受章
3 月 消防庁長官より芦別市消防本部・芦別市消防団に竿頭綬を受章
4 月 芦別市人事異動により、消防長 森貞雄氏市立芦別病院に出向（病院事務
長に発令）消防長後任に 熊谷憲康氏就任
4 月 芦別市消防本部・署人事異動により、市川豊氏本部次長兼消防署長に就任
4 月 芦別市消防本部・署組織規則一部改正により消防本部総務課庶務係と団係
を総務係に改組
4 月 消防庁長官に緊急消防援助隊登録
4 月 元芦別市消防署警防第 1 課長 伊藤貢氏 危険業務従事者叙勲瑞宝単光章
受章
- 12 月 元芦別市消防本部次長兼署長 故 佐々木久氏 叙位正七位受章
- 12 月 水槽付消防ポンプ自動車（1 - A 型）購入、上芦別分遣所に配置
- 12 月 芦別市消防本部・署設立 50 周年記念撮影
- 18 年 2 月 パラグアイへの消防車寄贈式（旧上芦別 1 号車）
3 月 芦別市消防長熊谷憲康氏消防庁長官永年勤続功労章受章
芦別市消防団第 1 分団長斎藤勉氏消防庁長官永年勤続功労章受章
4 月 元芦別市消防団長 小西修身氏春の叙勲 瑞宝双光章受章
4 月 芦別市消防本部・署組織規則一部改正により消防本部総務課と予防課を
総務予防課に改組
4 月 芦別市消防団定員 215 名から 205 名に改正
- 11 月 元芦別市消防本部総務課庶務係長 後藤富衛氏 危険業務従事者叙勲瑞宝
単光章受章
- 11 月 元芦別市消防団副団長 小野寺徳雄氏 秋の叙勲 瑞宝単光章受章
- 19 年 3 月 芦別市消防団第 5 分団長 岡本秀夫氏消防庁長官永年勤続功労章受章
3 月 芦別市消防長 熊谷憲康氏退任
4 月 芦別市消防本部・署人事異動により、消防長 市川豊氏就任
4 月 元芦別市消防本部次長 戸梶宣孝氏危険業務従事者叙勲瑞宝単光章受章
元芦別市消防本部予防課長 西 英昭氏危険業務従事者叙勲瑞宝単光章
受章
- 11 月 元芦別市消防長 武田榮治氏 危険業務従事者叙勲瑞宝双光章受章
- 20 年 3 月 元芦別市消防団分団長 須貝一徳氏 消防庁長官永年勤続功労章受章

- 20年 3月 救助工作車 型購入、署に配置
4月 元芦別市消防署警防第1課長 永田守男氏 危険業務従事者叙勲瑞宝単光
章受章
10月 全国消防長会道央地区協議会総会・全道消防職員意見発表会（芦別市）
11月 芦別市消防団副団長 中内紘治氏 秋の褒章 藍綬褒章受章
11月 北海道消防表彰で芦別市消防団が優良消防団として表彰旗を受賞

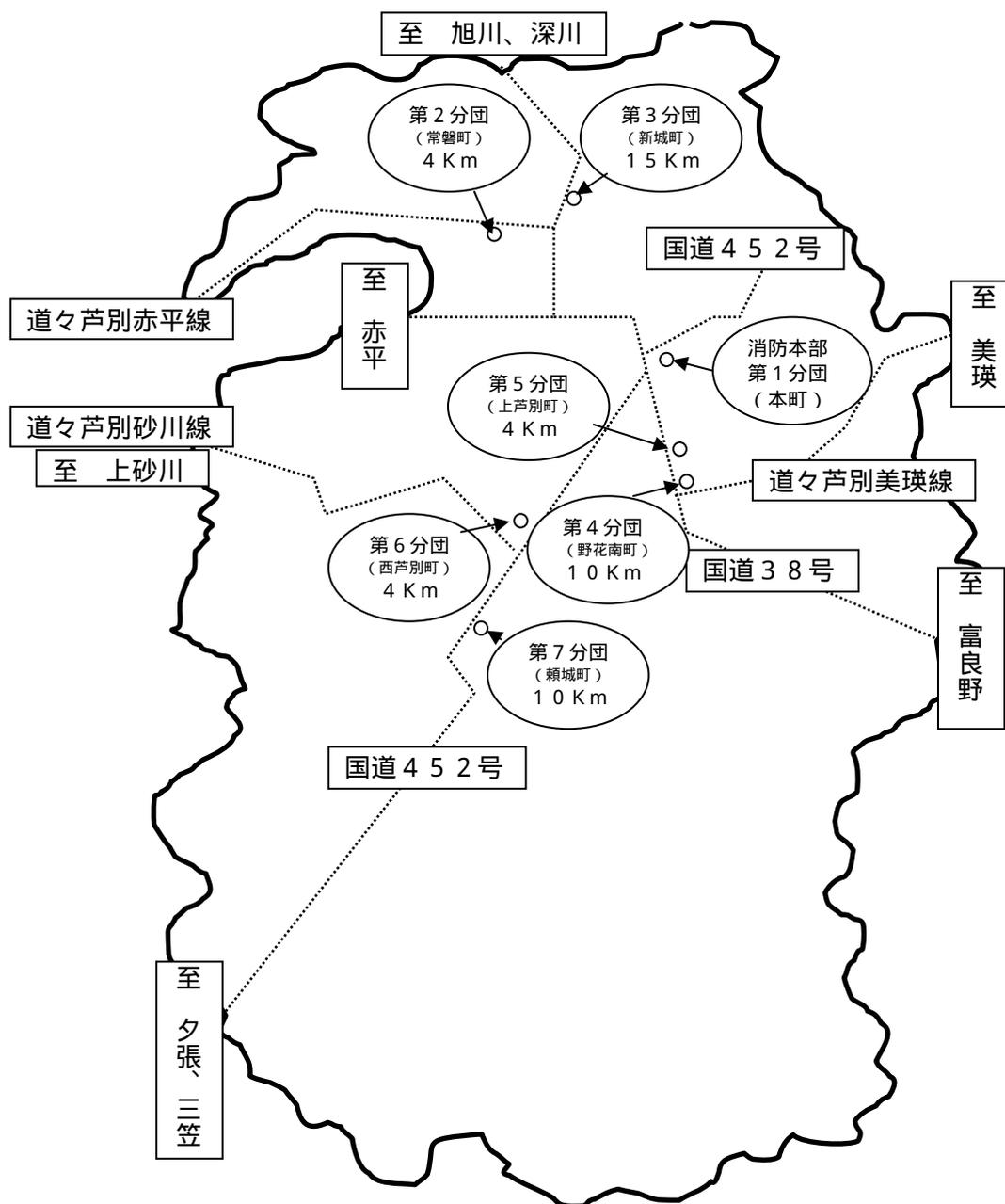
平成20年の動き

- 1月 4日 新年交礼会（福祉センター）
- 6日 平成20年消防出初式並びに防火祈願祭
- 7日 仕事始め
- 25日 芦別市危険物安全協会新年交礼会
- 29日 芦別市消防三役会議、第1回消防分団長会議、消防関係者新年交礼会
- 2月 18日 芦別市防火管理者協会法令研修会・新年交礼会
- 22日 芦別市消防団実務研修会（消防本部講堂）
- 27日 芦別市消防三役会議、臨時消防分団長会議（消防本部講堂）
- 3月 6日 消防職・団員健康診断
- 7日 自治体消防制度60周年記念式典（東京都）
- 14日 救助工作車 型納車
- 16日 初任団員研修会（消防本部講堂）
- 18日 初任教育課程卒業式（消防学校）
- 21日 防火研修会（福祉センター）
- 24日 芦別市消防団本部分団長 須貝一徳氏 消防庁長官表彰受章伝達式
- 25日 芦別市臨時消防三役会議（消防本部講堂）
- 31日 分団長退団辞令交付（須貝一徳団本部分団長）
- 4月 1日 人事異動並びに辞令交付
- 2日 分団長辞令交付（斎藤勉団本部分団長、伊藤吾輝夫第1分団長）
- 4日 第2回消防分団長会議
- 11日 芦別市鎮火祭・防火車両パレード
- 20日 春の火災予防運動（～30日）
- 21日 防火ティッシュ街頭配布
- 22日 芦別市防火管理者協会定期総会
- 23日 芦別市危険物安全協会総会
- 5月 9日 芦別市町内会長会議
- 16日 芦別連合消防後援会総会
- 20日 奈井江町消防演習（奈井江町）
- 28日 砂川広域消防組合消防演習（砂川市）
- 6月 2日 芦別市消防三役会議、第3回消防分団長会議
- 7日 滝川駐屯地53周年記念行事（滝川市）
- 8日 全国女性消防団員活性化北海道大会（札幌市）
- 13日 元芦別市消防署警防第1課長 永田守男氏危険業務従事者叙勲伝達式
- 21日 石狩川水防公開演習（滝川市）
- 27日 芦別市防火管理者協会・芦別市危険物安全協会合同視察研修（札幌市）

- 29日 北海道消防協会空知地方支部中空知分会連合消防演習（歌志内市）
- 7月13日 芦別市消防演習
 - 27日 赤平市消防演習（赤平市）
 - 28日 北海道消防学校特別教育気管挿管講習入校（江別市）
 - 29日 北空知連合消防演習（深川市）
- 8月2日 芦別市防災体験学習（～3日）
 - 18日 芦別市防災会議
 - 31日 芦別市防災訓練
 - 31日 滝川地区消防演習（滝川市）
- 9月1日 富良野消防連合演習（富良野市）
 - 3日 第14回北中空知地区消防職員スポーツ交流会（芦別市）
 - 6日 第60回北海道消防大会（札幌市）
 - 19日 芦別市消防職員委員会（消防本部講堂）
 - 30日 芦別市消防三役会議、第4回消防分団長会議
- 10月15日 秋の火災予防運動（～31日）
 - 21日 女性による1日特別職、部長職
 - 26日 秋の火災出動訓練
 - 27日 北海道消防学校特別教育薬剤投与講習入校（江別市）
 - 29日 全国消防長会道央地区協議会総会・全道消防職員意見発表会（芦別市）
- 11月3日 市政功労者表彰式（福祉センター）
 - 13日 芦別市危険物安全協会法令研修会
 - 20日 北海道消防表彰で芦別市消防団が優良消防団として表彰旗を受賞（札幌市）
- 12月1日 芦別市消防三役会議、第5回消防分団長会議
 - 16日 芦別市消防団副団長 中内紘治氏 藍綬褒章伝達式
 - 30日 仕事納め

芦別市消防機関配置図

分団別	配置人員		人口	世帯	職・団員 1人当人口	職・団員 1人当世帯
	職員	団員				
本部・署	49	20	10,797	5,489	104	53
第1分団		35				
第2分団		25	507	199	20	8
第3分団		24	474	207	20	9
第4分団		25	594	270	24	11
第5分団		33	4,270	2,170	129	66
第6分団		19	767	446	40	23
第7分団		19	359	203	19	11
合計	49	200	17,768	8,984	71	36



芦別市の位置並びに面積

位 置		面 積
東 経	北 緯	
142° 11' 35"	43° 30' 56"	865. 02km ²
広 ぼ う		
東 西	南 北	周 囲
24. 96km	48. 65km	168. 65km ²

人口世帯

平成20年12月31日

地 区 名	世 帯 数	人 口		合 計
		男	女	
本 町	5, 253	4, 787	5, 658	10, 445
旭 町	223	156	173	329
旭 町 油 谷	10	7	11	18
高 根 町	3	2	3	5
福 住 町	20	26	34	60
常 磐 町	179	211	236	447
黄 金 町	60	62	72	134
豊 岡 町	2	2	1	3
新 城 町	145	164	173	337
西 芦 別 町	395	320	355	675
中 の 丘 町	12	15	10	25
緑 泉 町	17	10	13	23
頼 城 町	165	145	141	286
東 頼 城 町	39	32	35	67
川 岸	15	16	18	34
青 木 沢	6	9	7	16
上 芦 別 町	2, 170	1, 989	2, 281	4, 270
野 花 南 町	267	278	309	587
泉	3	4	3	7
合 計	8, 984	8, 235	9, 533	17, 768

人口の推移

年 別	区 分	人 口	世 帯 数
平成 11 年		21,725	9,760
平成 12 年 国 調		21,026	8,701
平成 13 年		20,950	9,682
平成 14 年		20,500	9,594
平成 15 年		20,151	9,566
平成 16 年		19,766	9,484
平成 17 年 国 調		18,899	8,222
平成 18 年		18,766	9,236
平成 19 年		18,307	9,129
平成 20 年 12 月 現在		17,768	8,989

市勢に対する消防現勢との比較

区分	消防職員 1 人 当 り	消防団員 1 人 当 り	消防車 1 台 当 り
人口	362.6	88.8	1,366.7
世帯	183.3	44.9	691.0
面積	17.65 km ²	4.32 km ²	66.54 km ²

市一般会計と消防費

(単位 円)

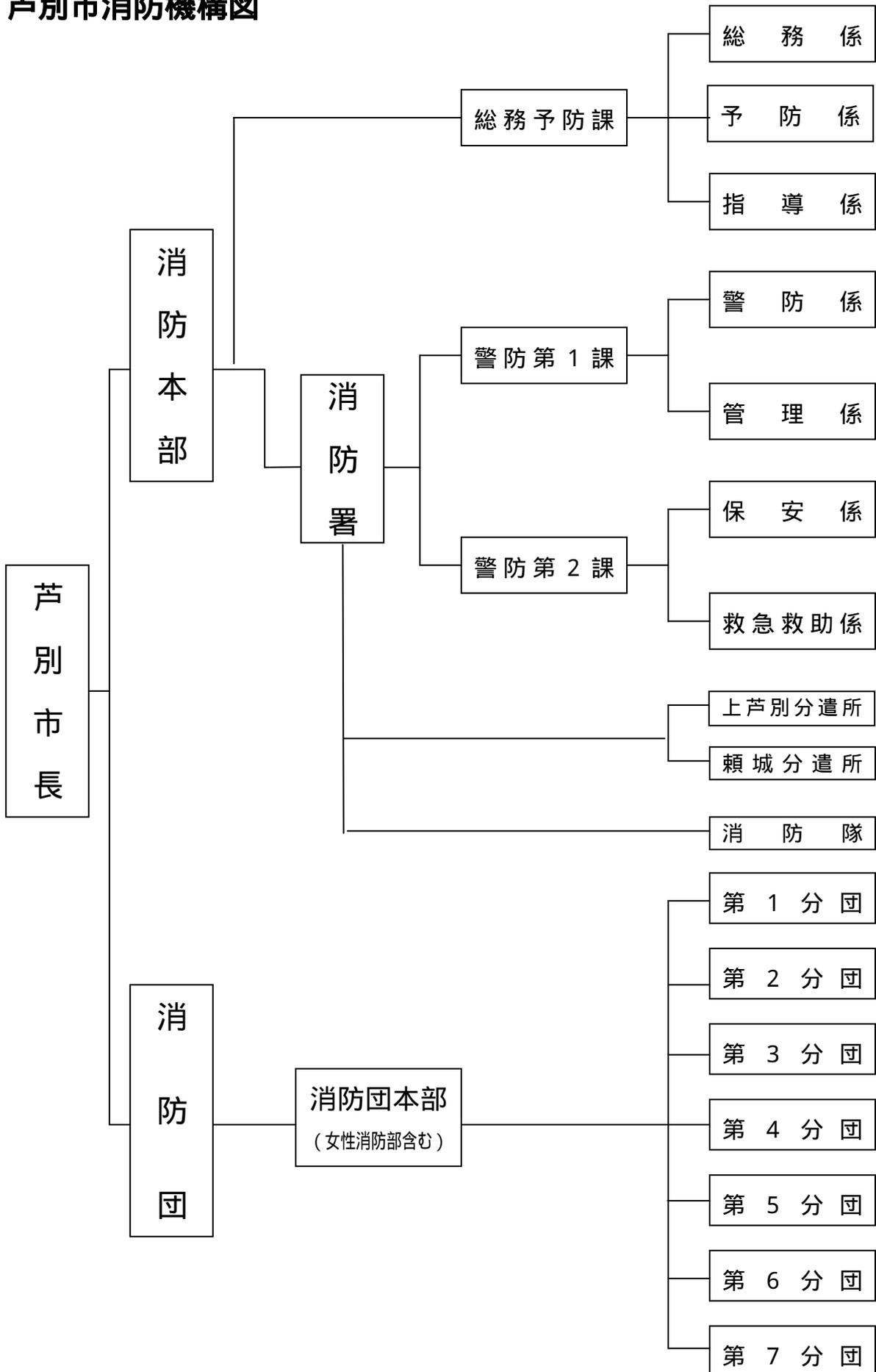
年度別	区分	一般会計(A)	消防費(B)	比率(B/A)%
平成 20 年度 予算額		11,094,150,000	313,491,000	2.83
平成 19 年度 決算額		11,268,730,000	349,808,000	3.10
平成 18 年度 決算額		12,148,067,000	380,969,000	3.14
平成 17 年度 決算額		11,549,499,000	380,341,000	3.29
平成 16 年度 決算額		12,219,425,000	376,202,000	3.08

市民と消防費並びに火災損害額

(単位 円)

年度別	区分	消防費 (予算見込み)	火災 損害額	1 人 当 り		1 世 帯 当 り	
				消防費	火 災 損 害 額	消防費	火 災 損 害 額
平成 20 年		313,491,000	13,058,000	17,644	735	34,894	1,453
平成 19 年		349,808,000	30,685,000	19,108	1,676	38,318	3,361
平成 18 年		380,969,000	3,170,000	20,301	169	41,248	343
平成 17 年		380,341,000	2,735,000	19,696	142	40,505	291
平成 16 年		376,202,000	26,538,000	19,481	1,343	40,064	2,796

芦別市消防機構図



消防職員数

階級別 区分	司令長 消防長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
定 員	階 級 別 定 員 なし						55
実 員	1	4	25	11	5	3	49

職員配置状況

階級別 職課名	司令長 消防長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
本 部	消 防 長	1					1
	次 長		1				1
	総務予防課		1	11	5	2	19
署 ・ 分 遣 所	署 長		(1)				(1)
	警防第1課		1	8	2	2	14
	警防第2課		1	6	4	1	14
	上芦別分遣所	本部・署職員毎日派遣					
瀬城分遣所	本部・署職員毎日派遣						0
合 計	1	(1) 4	25	11	5	3	(1) 49

()内は兼務・・・配置人数に含めない。

職員年齢状況

階級別 年 齢	司令長 消防長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
20歳未満							
20歳以上～25歳未満						2	2
25歳以上～30歳未満				2	5	1	8
30歳以上～35歳未満			2	9			11
35歳以上～40歳未満			8				8
40歳以上～45歳未満			5				5
45歳以上～50歳未満			3				3
50歳以上～55歳未満		1	4				5
55歳以上	1	3	3				7
合 計	1	4	25	11	5	3	49

職員勤続年数

階級別 勤続年数	司令長 消防長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
5年未満					1	3	4
5年以上～10年未満				3	4		7
10年以上～15年未満			2	8			10
15年以上～20年未満			8				8
20年以上～25年未満			4				4
25年以上～30年未満			2				2
30年以上～35年未満	1	4	9				14
35年以上							
合 計	1	4	25	11	5	3	49

歴代消防長

区分 代別	氏名	就任年月日	退職年月日	勤続年数	備考
初代	大西 駒太郎	昭和30.12.1	昭和34.12.1	4.1	
二代	沢内 精治	昭和34.12.31	昭和41.9.5	6.10	事務取扱
三代	菅田 英太郎	昭和41.9.6 昭和45.10.1	昭和48.7.1	4.1 2.9	職務代理者
四代	高島 勇太郎	昭和48.7.1	昭和51.4.16	2.9	
五代	島田 好男	昭和51.4.16	昭和52.4.1	0.11	事務取扱
六代	熊谷 文一	昭和52.4.1	昭和54.7.5	2.3	
七代	石川 孚	昭和54.7.5	昭和57.3.31	2.8	
八代	松浦 威雄	昭和57.4.1	昭和60.1.16	2.9	
九代	茶木 光義	昭和60.1.16	昭和62.3.17	2.2	
十代	武田 榮治	昭和62.3.17	平成4.3.31	5.1	
十一代	清澤 英雄	平成4.4.1	平成7.3.31	3.0	
十二代	酒谷 孝一	平成7.4.1	平成9.3.31	2.0	
十三代	千葉 昭夫	平成9.4.1	平成11.6.30	2.3	
十四代	小塚 芳治	平成11.7.1	平成12.3.31	0.9	
十五代	佐々木 正昭	平成12.4.1	平成14.6.30	2.3	
十六代	森 貞雄	平成14.7.1	平成17.3.31	2.9	
十七代	熊谷 憲康	平成17.4.1	平成19.3.31	2.0	
十八代	市川 豊	平成19.4.1			

歴代消防本部次長

区分 代別	氏名	就任年月日	退職年月日	勤続年数	備考
初代	原田 最	昭和46.10.11	昭和49. 8. 1	2. 10	昭和49.7.1署長兼務
二代	柳原次郎	昭和49.10. 1	昭和53. 8.17	3. 11	
三代	大関富雄	昭和53. 9. 1	昭和56.12.16	3. 4	署長兼務
四代	武田榮治	昭和56.12.16 昭和62. 3.17	平成 元. 3.31	5. 3 2. 1	事務取扱
五代	清澤英雄	平成 元.4. 1	平成 4. 3.31	3. 0	
六代	石川正義	平成 4.4. 1	平成 6. 3.31	2. 0	
七代	佐々木 久	平成 6.4. 1	平成11. 3.31	5. 0	
八代	戸梶宣孝	平成11.4. 1	平成13. 3.31	2. 0	
九代	熊谷憲康	平成13.4. 1	平成17. 3.31	4. 0	
十代	市川 豊	平成17.4. 1	平成19. 3.31	2. 0	
十一代	早松久志	平成19.4. 1			

歴代消防署長

区分 代別	氏名	就任年月日	退職年月日	勤続年数	備考
初代	小山田敬次郎	昭和30.12. 1	昭和35. 8.31	4. 9	
二代	島田好男	昭和35.10. 1	昭和41. 4.20	5. 7	
三代	菅田英太郎	昭和41. 4.20	昭和48. 7. 1	7. 3	
四代	原田 最	昭和48. 7. 1	昭和49. 8. 1	1. 1	
五代	柳原次郎	昭和49. 8. 1	昭和53. 9. 1	4. 0	昭和49.10.1本部長兼務
六代	大関富雄	昭和53. 9. 1	昭和56.12.16	3. 9	
七代	武田榮治	昭和56.12.16	昭和58. 7. 1	1. 7	本部長兼務
八代	日下 勲	昭和58. 7. 1	平成 元. 3.31	5. 9	
九代	佐々木 久	平成 元. 4. 1	平成11. 3.31	10. 0	
十代	戸梶宣孝	平成11. 4. 1	平成13. 3.31	2. 0	本部長兼務
十一代	熊谷憲康	平成13. 4. 1	平成17. 3.31	4. 0	本部長兼務
十二代	市川 豊	平成17. 4. 1	平成19. 3.31	2. 0	本部長兼務
十三代	早松久志	平成19. 4. 1			本部長兼務

職員の学校及び自治研修所派遣状況

学校・研修所別		年 別	昭和30年 平成15年	平 成 16年	平 成 17年	平 成 18年	平 成 19年	平 成 20年	合 計
消防大学校	上級幹部科		4						4
	研 究 科		1						1
北 海 道 消 防 学 校	幹 部 教 育		22						22
	初 任 教 育		77	1	1	1			80
	専 科 教 育		117	5	3	4	2	2	133
北 海 道 自 治 研 修 所	法政事務研修		6						6
	監督者研修		5						5
	上級職研修		3						3
	そ の 他		2						2
合 計			237	6	4	5	2	2	256

職員技能者数

技術区分	階級別	司令長 消防長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
大 型 免 許		1	4	25	5		1	36
普 通 免 許					6	5	2	13
大 型 特 殊 免 許		1	1	2	1			5
けん引免許			1					1
特殊無線技師資格者			3	7	1			11
アマチュア無線技師			1	3	1			5
危険物取扱資格者		1	3	11	6	3	1	25
衛生管理者資格者			1	1	2			4
アセチレンガス溶接資格者		1	1	13	3			18
足場組立作業主任者			1	12	2	1		16
酸素欠乏危険作業主任者			1	5	1	1		8
二級小型船舶操縦士			1	9	1			11
小型移動式クレーン		1	1	7	7			16
玉 掛 け			1	7	7			15
救 急 救 命 士		1		3	3	1	3	11
救急標準課程修了者				2	8	4		14
救急 課程修了者			2	17				19
救急 課程修了者			2	3				5

消防団員定員並びに階級別実員数

分団名	実員	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
	定員								
本 部	5	1	3	1					5
女性消防部	15					1	4	10	15
第 1 分 団	35			1	1	3	7	23	35
第 2 分 団	25			1	1	3	5	15	25
第 3 分 団	25			1	1	3	5	14	24
第 4 分 団	25			1	1	3	5	15	25
第 5 分 団	35			1	1	3	7	21	33
第 6 分 団	20			1	1	3	4	10	19
第 7 分 団	20			1	1	3	5	9	19
合 計	205	1	3	8	7	22	42	117	200

春秋・危険業務従事者叙勲受章者名簿

消防本部

受章年度	氏名	受章名	役職
昭和45年(春)	大西駒太郎	勲五等瑞宝章	元消防長
平成16年春(危)	佐々木久	瑞宝単光章	元司令長
平成17年春(危)	伊藤貢	瑞宝単光章	元司令
平成18年秋(危)	後藤富衛	瑞宝単光章	元司令補
平成19年春(危)	戸梶宣孝	瑞宝単光章	元司令長
平成19年春(危)	西英昭	瑞宝単光章	元司令
平成19年秋(危)	武田榮治	瑞宝双光章	元消防監
平成20年春(危)	永田守男	瑞宝単光章	元司令

消防団

受章年度	氏名	受章名	役職
昭和45年(秋)	川島千代作	勲七等単光旭日章	元分団長
昭和56年(秋)	古田松雄	勲六等瑞宝章	元副団長
昭和57年(春)	川村千代吉	勲七等単光旭日章	元分団長
昭和63年(春)	今野正信	勲五等瑞宝章	元副団長
平成6年(春)	大西武一	勲五等瑞宝章	元団長
平成7年(春)	中村清	勲六等単光旭日章	元副団長
平成9年(秋)	帰山和雄	勲六等瑞宝章	元分団長
平成12年(秋)	野寺雄治	勲六等瑞宝章	元分団長
平成13年(春)	森田迪夫	勲六等単光旭日章	元副団長
平成15年(秋)	伊藤研	瑞宝単光章	元分団長
平成18年(春)	小西修身	瑞宝双光章	元団長
平成18年(秋)	小野寺徳雄	瑞宝単光章	元副団長

叙位受章者名簿

消防本部

受章年度	氏名	受章名	役職
平成14年	日下勲	従七位	元司令
平成17年	佐々木久	正七位	元司令長

褒章受章者名簿

消防団

受章年度	氏名	受章名	役職
昭和58年	大西武一	藍綬褒章	元団長
平成11年	小西修身	藍綬褒章	元団長
平成20年	中内紘治	藍綬褒章	副団長

消防庁長官表彰(永年勤続功労章)

消防本部

受章年度	氏名	役職
昭和61年	日下 勲	司令
平成2年	武田 榮治	消防監
平成9年	佐々木 久	司令長
平成17年	熊谷 憲康	消防監

消防団

受章年度	氏名	役職
昭和61年	中村 清	分団長
昭和62年	伊藤 研	副分団長
昭和63年	野寺 雄治	分団長
昭和63年	梶山 和雄	副分団長
平成2年	森田 迪夫	分団長
平成6年	小野寺徳雄	副団長
平成8年	小西 修身	団長
平成9年	松本 豊	副団長
平成13年	古田 克志	副団長
平成15年	野原 彬	分団長
平成16年	中内 紘治	副団長
平成17年	斎藤 勉	分団長
平成18年	岡本 秀夫	分団長
平成19年	須貝 一徳	分団長

表彰状況

区分	種別	消防庁長官		北海道知事			市長	全国消防長会会長	日本消防協会会長	消防協会会長 北海道	支部支部長 空知地方		中空知分会分会長	団長表彰	合計		
		職	団	職	団	団	職	職	団	職	団	職	団	職	団	職	団
	被表彰者数		2	2	15	9		6	5	3	11	3	20	11	7	14	80
表彰区分	特別功績章															0	0
	永年勤続退団者		2													0	2
	功績章									4		1	11			0	16
	永年勤続功労章															0	0
	功労章				1	9									7	0	17
	精績章															0	0
	勤続章			2	14			6	5	3	7	3	19			14	45
	勤続章内訳	5年以上											6			0	6
		10年以上				4				1	4					1	8
15年以上											3	6			3	6	
20年以上					6					1					0	7	
25年以上												7			0	7	
30年以上			2	4			6	5	2	2					10	11	
35年以上																	
40年以上																	

消防団幹部名

階級別 所属	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長
団本部	古 田 克 志	中 内 紘 治	齋 藤 勉	
		高 砂 裕 司		
		土 山 孝 一		
第 1 分 団			伊 藤 吾 輝 夫	古 寺 國 夫
第 2 分 団			佐 渡 信 正	田 川 吉 栄
第 3 分 団			甲 斐 勝 博	川 上 義 啓
第 4 分 団			小 田 稔	脇 島 真 一
第 5 分 団			岡 本 秀 夫	熊 谷 辰 男
第 6 分 団			坂 下 明 治	石 田 敏 昭
第 7 分 団			浦 山 藤 次	川 村 正 洋

消防団員勤続年数

階級別 勤続年数	団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
1年未満							6	6
1年以上 5年未満							32	32
5年 " 10年 "						3	39	42
10年 " 15年 "					2	8	19	29
15年 " 20年 "				1	4	11	13	29
20年 " 25年 "			1	1	4	5	2	13
25年 " 30年 "		1	1	1	3	11	2	19
30年 " 35年 "		1	2	3	6	4	3	19
35年 " 40年 "	1	1	1	1	3		1	8
40年以上			3					3
合 計	1	3	8	7	22	42	117	200

消防団員年齢状況

年齢別	階級別							
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
20歳未満							1	1
20歳以上25歳未満							7	7
25歳 " 30歳 "							10	10
30歳 " 35歳 "							26	26
35歳 " 40歳 "					1	3	13	17
40歳 " 45歳 "					3	3	22	28
45歳 " 50歳 "				1	1	10	13	25
50歳 " 55歳 "				1	2	9	11	23
55歳 " 60歳 "		1	1	4	10	15	8	39
60歳 " 65歳 "		1	3	1	5	2	6	18
65歳以上	1	1	4					6
合計	1	3	8	7	22	42	117	200

任免状況

所 属	区 分	採 用	退 職	市 異 動		昇任等
				増	減	
消防本部・署						2
消防団	団本部		1			
	第1分団	2	1			4
	第2分団					
	第3分団					
	第4分団	1	1			
	第5分団	1	3			4
	第6分団	1				1
第7分団	1	1				
合計		6	7	0	0	11

消防施設（建物）一覧

区分 所管	所在地	構造	竣工年	延面積	敷地面積
本部・署 第1分団	芦別市北1条 東1丁目3番地	鉄筋 コンクリート	S44年	780.00	6,528.00
第2分団	芦別市常磐町 331番地4	木造 モルタル	S41年	227.18	403.15
第3分団	芦別市新城町 186番地1	木造 モルタル	S48年	139.73	326.44
第4分団	芦別市野花南町 977番地18	木造 モルタル	S50年	143.64	390.11
上芦別分遣所 第5分団	芦別市上芦別町 518番地14	木造 モルタル	S54年	197.64	623.73
第6分団	芦別市西芦別町 81番地1	木造 モルタル	S52年	197.64	1,001.76
頼城分遣所 第7分団	芦別市頼城町 4番地	木造 モルタル	S53年	197.64	696.50

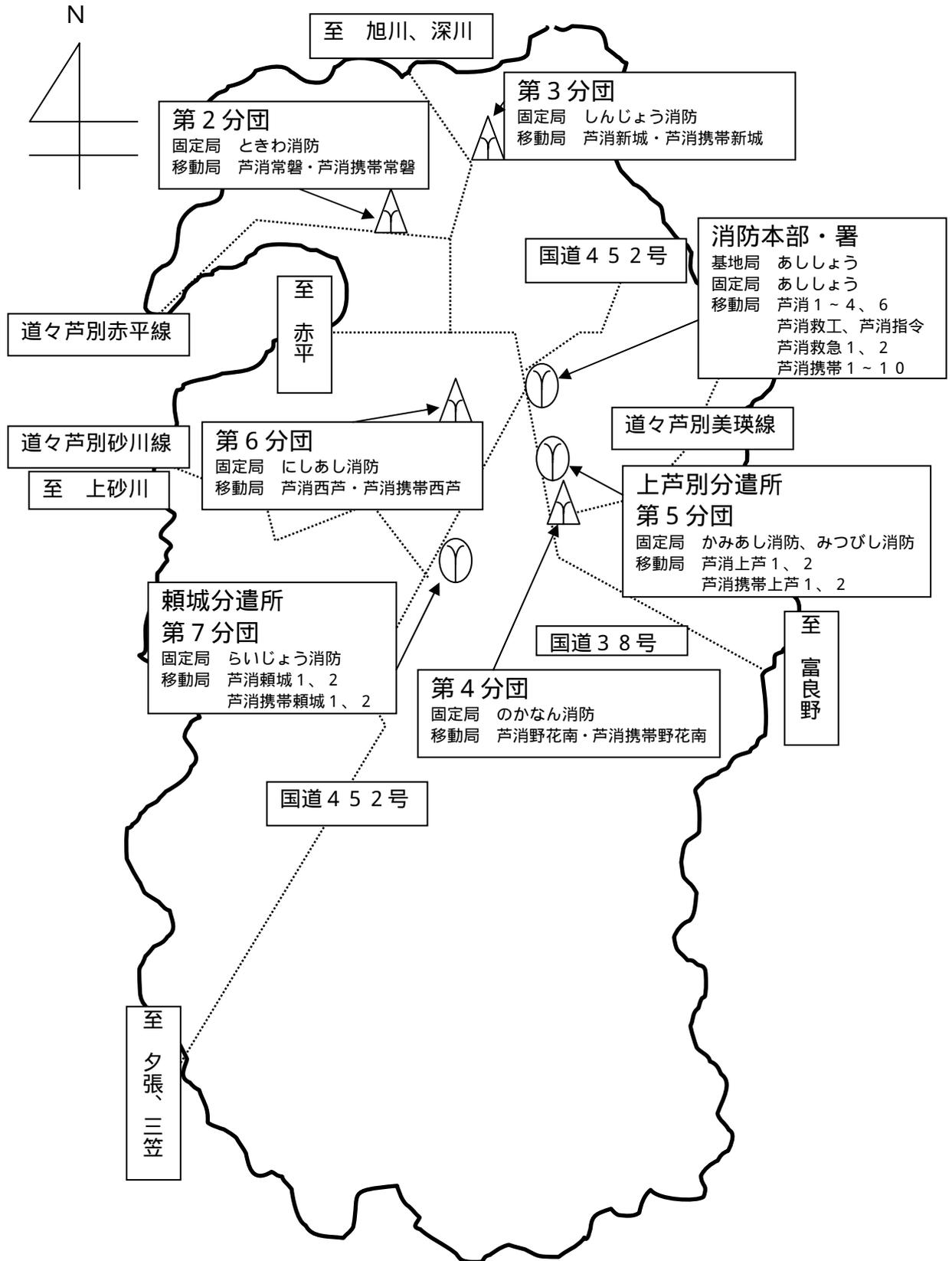
消防緊急通報指令装置回線構成

名 称	容 量	実 装	単 位	記 事
1 1 9 番 受 付	6	4	回 線	
携 帯 1 1 9 番 受 付	2	2	回 線	携帯会社 4 社、ひかり電話
ソフトバンクテレコム 1 1 9 番受付	2	2	回 線	
指 令 回 線	3	2	回 線	
局 線	4	2	回 線	
内 線	2	2	回 線	
録 音 回 路	2	2	回 線	1 1 7 番時報同時録音
放 送 回 路	1	1	回 線	
テレオート・サービス回路	1	1	回 線	3 回線
時 計 表 示	1	1	回 線	
病院車両表示回線	4 0	4 0	回 線	
F A X 回 線	1	1	回 線	

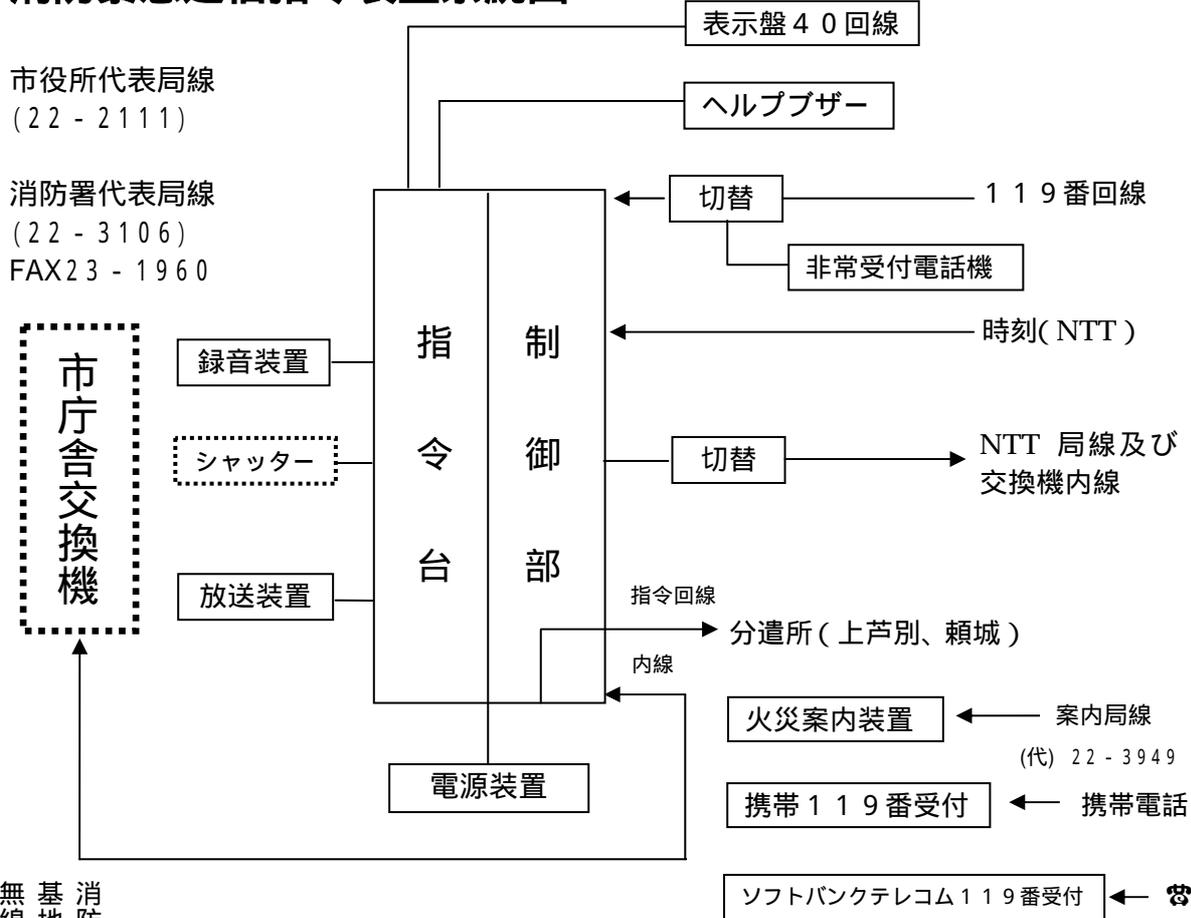
無線局

名 称	無 線 通 信 施 設	
呼 出 名 称	基地局	あししょう
	固定局	あししょう ときわしょうぼう しんじょうしょうぼう かみあししょうぼう にしあししょうぼう みつびし しょうぼう のかなんしょうぼう らいじょうしょうぼう
周波数 (MHz)	消防波	1 4 9 . 6 3
	救急波	1 4 3 . 7 6 1 4 7 . 7 6
	共通波	1 5 0 . 7 3
通 信 方 式	消防波・共通波	単信方式
	救急波	複信方式
無 線 局 数	基地局	1 固定局 8
	陸上移動局	3 5 (車載 1 7 携帯 1 8)
電 波 方 式	V H F	F 3 E 1 6 K O F 2 D
空 中 線 電 力	基地局	1 0 W 陸上移動局 (車載 1 0 W ・ 携帯 5 W 、 1 W)
	固定局	0 、 0 2 W 、 2 W 、 5 W 、 1 0 W
受 令 機 数	5 8 (職員非常招集用)	

消防無線電話の配置及び呼出し名称



消防緊急通信指令装置系統図



消防本部・署、第1分団
基地局(あししょう)
無線式サイレン吹鳴装置

第2分団(常磐町)
223300

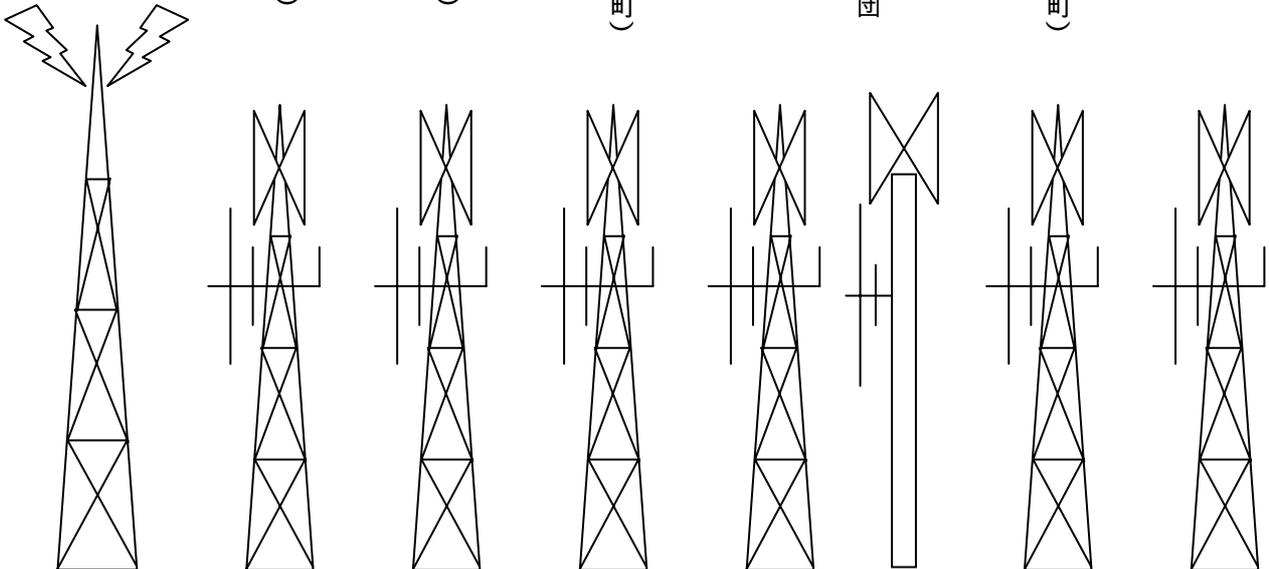
第3分団(新城町)
282034

第4分団(野花南町)
273344

上芦別分遣所第5分団
(上芦別町)
228790

第6分団(西芦別町)
257028

頼城分遣所第7分団
(頼城町)
255009



車両現勢一覧表

区分 所属	車名	型式	種別	年式	車令	ポンプ		備考
						艀装会社	級別	
消 防 署	日野	KL-FQ 1KRHA	小型動力ポンプ 付水槽車	平成 12年	8	北海道 モリタ	B-3	型 10,000リットル
	日野	U-FD 3HGAA	水槽付 ポンプ車	平成 4年	16	北海道 モリタ	A-2	水槽 2,000リットル
	日野	BDG-GX 7JGWA	救助工作車	平成 20年	0			小型動力ポンプ クレーン積載
	三菱	KC-FG 638E	救急車	平成 8年	12			高規格車
	トヨタ	TC-VCH 38S	救急車	平成 15年	5			高規格車
	トヨタ	E-GS 130G	指令車	平成 5年	15			
	トヨタ	U-LH 129S	広報車	平成 2年	18			北海道農業協同組 合連合会寄贈
第1分団	いすゞ	P-FRR 12D	ポンプ車	昭和 60年	23	北海道 モリタ	A-2	小型動力 ポンプ積載
	三菱	KK-FG 53ED	ポンプ車	平成 12年	8	日本機械	A-1	小型動力 ポンプ積載 日本損害保険協 会寄贈
第2分団	三菱	U-FG 337E	小型動力ポンプ 付積載車	平成 5年	15	北海道 モリタ	B-2	小型動力 ポンプ積載
第3分団	三菱	U-FG 337C	ポンプ車	平成 3年	17	北海道 モリタ	A-2	小型動力 ポンプ積載
第4分団	いすゞ	U-FRR 32F	水槽付ポンプ車	平成 2年	18	北海道 モリタ	A-2	水槽 2,000リットル 小型動力 ポンプ積載
第5分団	いすゞ	P-FRS 35G3J	災害対応特殊 水槽付ポンプ車	平成 17年	3	日本機械	A-2	水槽 1,500リットル
	三菱	KC-FG 538D	ポンプ車	平成 8年	12	北海道 モリタ	A-2	小型動力 ポンプ積載
第6分団	いすゞ	K-SDR 370	水槽付ポンプ車	昭和 58年	25	北海道 モリタ	A-2	水槽 2,000リットル 小型動力 ポンプ積載
第7分団	いすゞ	P-FRR 12FAV	水槽付ポンプ車	昭和 63年	20	日本機械	A-2	水槽 2,000リットル 日本損害保険協 会寄贈
	いすゞ	K-TLD 44	ポンプ車	昭和 55年	28	北海道 モリタ	B-1	小型動力 ポンプ積載

年間車両使用状況

区分 車名	火災 出動	救急 出動	救助 出動	風水害 等の災害	演習 訓練	訓練 指導	警防 調査	火災 調査	特別 警戒	遭 難	予防 査察	誤 報	そ の 他	延 回 数	消費 燃料	走行 料数
署 1 号車	16				24		1					2	31	74	554	926
署 2 号車	16				15		1					2	31	65	215	642
署救助工作車	5		8		33								32	78	636	844
署救急 1 号車		775			3								79	857	2,693	12,494
署救急 2 号車		63			1								9	73	223	1,212
署 指令車	11		4		6		3	5	39		74	2	302	446	973	8,307
署 広報車	9	1	2		15	3	55	19	2		23		365	494	1,160	10,874
第 1 分団 1 号車	3				5		1		11				12	32	88	320
第 1 分団 2 号車	3				4		34	1	14		1		22	79	284	1,367
第 2 分団車					6	1	4		16				3	30	108	533
第 3 分団車					10				18		1		2	31	130	606
第 4 分団車	1				11				31				3	46	198	907
第 5 分団 1 号車	2				3		65		38				14	122	577	2,568
第 5 分団 2 号車	2				15				21				4	42	115	381
第 6 分団車	6				9		33		18				5	71	359	732
第 7 分団 1 号車	4		2		3		52		36			1	25	123	396	1,899
第 7 分団 2 号車	2				14		3		15			1	7	42	234	774
小型動力ポンプ															276	
計	80	839	16	0	177	4	252	25	259	0	99	8	946	2,705	9,219	45,386

小型動力ポンプ現勢一覧表

区分 所属	名 称	型式	馬力	購 入 年 月	経過年数	級 別
消 防 署	ト - ハツ	V20ES	1 5	H 1 5 . 8	5	C- 1
第 1 分 団	ト - ハツ	V20DS	1 5	H 1 2 . 1 1	8	C- 1
第 1 分 団	シバウラ	TF10SE	1 3	S 5 5 . 5	2 8	C- 1
第 2 分 団	ト - ハツ	V20BS	1 5	H 5 . 1 1	1 5	C- 1
第 3 分 団	ラビット	P381SV	1 5	H 1 2 . 5	8	C- 1
第 4 分 団	ト - ハツ	V20ES	1 5	H 1 4 . 6	6	C- 1
第 5 分 団	ト - ハツ	V20CS	1 5	H 8 . 1 1	1 2	C- 1
第 6 分 団	ラビット	P303B	1 3	S 5 6 . 6	2 7	C- 1
第 7 分 団	ラビット	P303B	1 3	S 5 4 . 1 0	2 9	C- 1

ホース配置状況

所属 種別	5 0 mmホース	6 5 mmホース	計
消 防 署			
第 1 分 団	2 4	1 5 4	1 7 8
第 2 分 団	0	4 0	4 0
第 3 分 団	0	4 2	4 2
第 4 分 団	8	3 7	4 5
第 5 分 団	8	1 0 0	1 0 8
第 6 分 団	1 1	2 9	4 0
第 7 分 団	1 1	6 9	8 0
計	6 2	4 7 1	5 3 3

過去 5 年間の主要消防施設

施設名 年度別	消防自動車	小型動力ポンプ	消防用無線機 通信施設	消防水利
16年度			携帯用無線機 3台	
17年度	水槽付消防ポンプ自動車1台			消火栓 2基
18年度				防火水槽 40m ³ 型 1基
19年度	救助工作車 1台		携帯用無線機 2台	
20年度				消火栓 1基
計	2 台	0 台	5 台	防火水槽 40m ³ 型 1基 消火栓 3基

全市水利状况

区分 地区別	消火栓		小 計	防火水槽		小 計	合 計
	双口	单口		40 m ³ 以上	40 m ³ 未滿		
本町地区 第1分团	6	108	114	50	6	56	170
常磐町地区 第2分团		2	2	3	2	5	7
新城町地区 第3分团		6	6	2	1	3	9
野花南町地区 第4分团		5	5	1	3	4	9
上芦别町地区 第5分团		65	65	23	4	27	92
西芦别町地区 第6分团		21	21	7	6	13	34
頼城町地区 第7分团		17	17	7	4	11	28
合 計	6	224	230	93	26	119	349

火災の概況

区分 原因別	件数	火災種別								焼損棟数	り災		死傷者		焼損床面積 (m ²)	焼損表面積 (m ²)	損害額 (千円)
		建物					林野	車両	その他		世帯数	人員	死者数	負傷者数			
		全焼	半焼	部分焼	ぼや	計											
20年	19	2	1	3	5	11	1	2	5	13	12	28	2	2	338 (26)	86	13,058
19年	12	2	1	4		7		2	3	8	4	13	2	1	879	16	30,685
比較	7	0	0	1	5	4	1	0	2	5	8	15	0	1	541 (26)	70	17,627

は前年度比較の減。

()は、林野火災焼損面積。(単位:a)

過去5年間の出火原因調べ

原因 年別	タバコ	コンロ	ストーブ、煙突	電気、配線	火入れ、たき火、ゴミ焼	風呂、カマド	焼却炉	火遊び	溶接の火花	穀物乾燥機	内燃機関	排気管	放火、放火の疑い	その他	不明	出火率	合計
20年	1	1	2	2	1		1		1				1	5	4	10.5	19
19年	1		1	4							1	1			4	6.4	12
18年	3	2	1	3	1		2							3	3	9.4	18
17年		2	1		1		1		1	1			1	1	1	5.2	10
16年	1	1	1		1								4		2	5.1	10

出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。

月別火災発生状況

区分 月別	件 数	火災種別							焼 損 棟 数	り災		死傷者		焼 損 床面積 (㎡)	焼 損 表面積 (㎡)	損害額 (千円)	
		建 物					林 野	車 両		そ の 他	世 帯 数	人 員	死 者 数				負 傷 者 数
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計											
1	1				1	1				1	1	2				61	
2	1				1	1											
3	3		1	2		3			4	4	11		1	121	4	6,015	
4	5	1				1	1		3	1	1	2		67 (26)		957	
5	2	1				1			1	4	3	5	1	115	82	2,991	
6	2				1	1			1	1	1	2				10	
7																	
8	1			1		1				1	1	3		35		1,797	
9	2				2	2				1	1	3				184	
10	1							1					1			43	
11																	
12	1							1								1,000	
合 計	19	2	1	3	5	11	1	2	5	13	12	28	2	2	338 (26)	86	13,058

()は、林野火災焼損面積。(単位:a)

時間別火災発生状況

区分 時間別	件 数	火災種別							焼 損 棟 数	り災		死傷者		焼 損 床面積 (m ²)	焼 損 表面積 (m ²)	損害額 (千円)	
		建 物					林 野	車 両		そ の 他	世 帯 数	人 員	死 者 数				負 傷 者 数
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計											
0~1	1			1		1			1					1	930		
1~2																	
2~3																	
3~4																	
4~5																	
5~6																	
6~7	1							1				1			43		
7~8																	
8~9																	
9~10																	
10~11	2				1	1			1	1	2				61		
11~12	3						1		2					(26)			
12~13	2				2	2			2	2	5				194		
13~14	1							1							1,000		
14~15	1								1								
15~16	1	1				1			4	3	5	1		115	82	2,991	
16~17	2	1		1		2			2	2	5		1	102		2,754	
17~18																	
18~19	1			1		1			1	1	6				1	84	
19~20	2				1	1			1								
20~21	1				1	1											
21~22																	
22~23																	
23~24	1		1			1			2	3	5		1	121	2	5,001	
不 明																	
合 計	19	2	1	3	5	11	1	2	5	13	12	28	2	338 (26)	86	13,058	

()は、林野火災焼損面積。(単位:a)

管轄区域別火災発生状況

年別 地区別		平成20年 (A)		平成19年 (B)		増減 (A) - (B)	
		件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)	件数	損害額(千円)
第1分団	本町	7	10,044	4	17,725	3	7,681
	旭町	4	1,000	1	192	3	808
	高根町						
	旭町油谷	1	930	1	6,300	0	5,370
第2分団	常磐町			1	221	1	221
	福住町						
第3分団	新城町						
	豊岡町						
	黄金町			1	3,098	1	3,098
第4分団	野花南町	1		1	145	0	145
	泉	1	43			1	43
第5分団	上芦別町	1		2	1,802	1	1,802
第6分団	西芦別町	1		1	1,202	0	1,202
	中の丘町						
	東頼城町						
第7分団	頼城町	2	957			2	957
	緑泉町						
	川岸 奥芦別	1	84			1	84
合計		19	13,058	12	30,685	7	17,627

昭和30年以降の火災発生状況

区分 年別	火災 件数	焼損床面積 (a) m ²	焼損表面積 (m ²)	損害額 (千円)	市民1人	1世帯	火事騒 件数	死者
					当たり	当たり		
					損害額	損害額		
					(円)	(円)		
30	28	3,047		36,346	501	2,686	3	
31	50	4,441		146,879	2,157	10,983	9	
32	32	1,318		13,579	182	986	17	2
33	22	1,345		7,422	98	528	25	
34	28	2,636		22,126	295	1,584	23	
35	43	3,111		34,219	466	2,468	17	2
36	35	3,845		55,938	783	4,147	24	2
37	21	3,324		17,367	248	1,276	36	1
38	36	2,165		17,019	255	1,271	42	
39	22	5,909		105,709	1,765	8,509	41	
40	22	3,500		40,720	781	3,164	43	4
41	19	4,502		56,203	991	4,533	32	
42	22	3,638		34,072	622	2,783	30	1
43	22	2,457		22,142	423	1,864	37	
44	24	3,923		87,877	1,924	6,840	23	2
45	28	4,164		51,877	1,188	4,103	26	
46	28	4,165		39,932	931	3,159	26	1
47	11	232		63,980	1,578	5,233	28	
48	16	1,608		111,381	2,856	9,275	27	
49	20	(15)3,065		85,352	2,245	7,199	13	2
50	11	1,269		57,965	1,560	4,948	9	1
51	9	(526)1,166		37,597	1,029	3,213	6	
52	8	1,025		31,048	862	2,666	12	
53	14	(144) 881		31,828	903	2,756	7	1
54	6	706		24,226	708	2,103	11	1
55	13	2,739		84,275	2,528	7,395	14	2
56	8	596		14,485	443	1,282	4	1
57	9	707		23,592	738	2,098	23	1
58	8	(117) 378		17,123	548	1,539	30	
59	17	(422)1,159		72,991	2,365	6,556	30	2
60	12	582		33,073	1,084	2,967	24	1
61	12	1,088		56,216	1,864	5,034	10	6
62	10	823		26,473	929	2,469	15	2
63	8	642		43,225	1,582	4,129	13	
平成元	16	(920)2,451		45,964	1,748	4,490	13	
2	10	(36) 186		4,601	179	451	7	
3	12	2,085		181,793	7,238	17,960	13	1
4	14	351		12,328	501	1,225	3	

区 年 別	火災 件数	焼損床面積 (a) m ²	焼損表面積 (m ²)	損害額 (千円)	市民1人 当たり 損害額 (円)	1世帯 当たり 損害額 (円)	火事騒 件数	死者
5	12	(87)1,416		115,758	4,825	11,550	4	
6	8	(4) 23		8,010	339	802	4	
7	21	444	23	24,579	1,059	2,470		
8	16	528	5	40,645	1,782	4,122		2
9	13	148		8,416	376	857		
10	21	(97) 300	30	37,955	1,722	3,869		2
11	12	453		28,990	1,334	2,970		
12	12	(16) 218	44	18,521	869	1,906		
13	19	(7) 210	7	23,472	1,120	2,424		
14	17	(7) 62	29	9,308	454	970		1
15	14	(4) 174	8	21,051	1,045	2,201		2
16	10	487	35	26,538	1,343	2,798		
17	10	74	9	2,735	142	291		
18	18	(9) 108	4	3,170	169	343		1
19	12	879	16	30,685	1,649	3,338		2
20	19	(26) 338	86	13,058	722	1,442		2

焼損表面積は、平成7年1月1日改正による新区分。()内は林野火災の焼損面積。

月別火災等出動状況

種 別 月 別	火 災 件 数	そ の 他 件 数	出動回数		出動台数		出動人員		放水台数		使 用 水 利				
			署	団	署	団	署	団	署	団	タンク	消火栓	防火水槽	河川・その他	中継
1	1	1	1	1	3	2	10	10							
2	1		1		2		7								
3	3	1	3	2	13	8	59	63	3	6	5	3	2		
4	5	3	7	3	25	6	103	41	8	5	12		1		
5	2		2	2	8	5	48	63	4	5	6	3	1		
6	2		2	1	7	1	27	26	2		2				
7		1	1		3		10								
8	1	2	3	2	9	3	34	26	3		2	1			
9	2	4	6		9		28		2		2				
10	1		1	1	4	1	12	13							
11		2	2		2		5		1		1				
12	1		1		5		18		2		2				
計	19	14	30	12	90	26	361	242	25	16	32	7	4		

火災件数については事後聞知含む

風向の状況（最大風速時）

（単位 日）

北	13	南 東	33	西	10
北 北 東	5	南 南 東	12	西 北 西	56
北 東	0	南	25	北 西	105
東 北 東	0	南 南 西	7	北 北 西	53
東	2	南 西	10	無 風	1
東 南 東	31	西 南 西	3	計	366

過去10年間における気象の極値

	最高気温（ ）	最低気温（ ）	日最大降水量（mm）	日最大降雪量（cm）
11年	35.4（8月8日）	-18.5（2月3日）	63（7月29日）	47（12月7日）
12年	36.4（8月1日）	-23.5（1月27日）	79（7月25日）	40（1月10日）
13年	30.4（8月21日） （8月24日）	-23.2（1月15日）	99（9月11日）	32（12月30日）
14年	31.8（9月2日）	-20.2（1月20日）	43（10月29日）	26（2月18日）
15年	30.7（8月5日）	-23.0（1月15日）	48（8月9日）	32（1月31日）
16年	34.4（7月30日）	-18.9（1月25日）	49（6月10日）	22（12月5日）
17年	32.2（6月23日） （8月11日）	-20.5（1月26日）	65（9月7日）	36（1月30日）
18年	33.5（8月9日）	-17.8（1月23日）	79（8月18日）	30（1月30日）
19年	35.7（8月13日）	-16（2月10日）	46（9月7日）	23（11月21日）
20年	34.0（7月6日）	-22.4（2月25日）	33（8月3日）	40（11月20日）

月別気象状況

上半期

種別		月別					
		1	2	3	4	5	6
天 気	快晴の日数	0	0	0	2	1	3
	晴れの日数	7	11	15	13	9	15
	曇りの日数	13	9	14	14	21	7
	雨の日数	0	0	2	1	0	5
	雪の日数	11	9	0	0	0	0
日照時間		56.8	110.1	161.5	153.3	141.2	179.3
風 速	最大(m/秒)	8	10	7	8	9	8
	最大風速の日 (日)	24・25	23・24	11・26	1・27	5・19・31	22
	平均風速5m以上の日数	0	0	0	1	1	0
	平均風速(m/秒)	1.5	1.9	1.7	2.2	2.5	2.2
最多風速		西北西	西北西	北西	北西	北西	北西
降水量		37	45	22.5	12.5	84.5	20.5
雪	新積雪	142	139	30	0	0	0
	最大積雪値	25	22	6	0	0	0
気 温	最高気温	0.3	4.2	14.1	26.2	26.4	28.7
	最高気温の日	3	29	25	21	1	18
	最低気温	-21.5	-22.4	-10.7	-4	-2.4	6.3
	最低気温の日	19	25	4	3	10	3
9時の平均気温		-7.7	-6.2	1.4	8	11.8	17.1
湿 度	最小湿度	37	25	8	9	13	17
	最小湿度の日	26	3	15	9	14	25
	湿度の平均	72	65.1	59.6	57.1	61	62
実効湿度の平均		66.4	65.1	60.8	57.2	60.8	62.5

下半期

種別		月別						合計 (平均)
		7	8	9	10	11	12	
天 気	快晴の日数	6	6	8	1	0	0	27
	晴れの日数	12	10	10	13	5	2	122
	曇りの日数	9	11	7	7	11	9	132
	雨の日数	4	4	5	10	6	2	39
	雪の日数	0	0	0	0	8	18	46
日照時間		132.9	150.7	178.9	120.1	77	48.8	1510.6
風 速	最大(m/秒)	7	11	7	10	8	7	
	最大風速の日 (日)	7	24	23	24	29	5	
	平均風速5m以上の日数	0	1	0	0	0	0	
	平均風速(m/秒)	1.9	1.9	1.7	1.9	1.5	1.3	1.9
最多風速		北西 北北西	北西	北西	南東・南 北西	北西	西北西	
降水量		72.5	102	37	114	132	122.5	802
雪	新積雪	0	0	0	0	95	162	568
	最大積雪値	0	0	0	0	40	23	
気 温	最高気温	34	31.2	31	22.2	15.1	10.2	
	最高気温の日	6	6	1	14	14	9	
	最低気温	12.3	10.2	4.5	0.5	-12.3	-13	
	最低気温の日	2	22	29	17	25	27	
9時の平均気温		21.7	20.4	17.2	10.5	1.6	-1.6	7.9
湿 度	最小湿度	19	21	13	17	26	33	
	最小湿度の日	1	5	11	6・16・17	12	3	
	湿度の平均	68.2	66.9	62.6	65.1	71.5	73.6	65.4
実効湿度の平均		67.3	66.5	63.6	64.3	70.9	72.9	64.9

9 : 0 0 観測

救急活動総括表

種 別	總 計	月 平 均	一 日 平 均	一 回 平 均
出 場 件 数	841 件	70.1 件	2.3 件	
不 搬 送 件 数	53 件	4.4 件		
搬 送 人 員	797 人	66.4 人	2.2 人	
出 場 人 員	2,568 人			
走 行 杆 数	13,446 km			16 km
現 場 到 着 時 間	最 短 0 分	最 長 40 分		6.1 分
収 容 所 要 時 間	最 短 7 分	最 長 102 分		23 分

月別出場件数

事故種別	月別												計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
火 災			1	1	1					1			4
自 然 災 害													
水 難 事 故													
交 通 事 故	1	1	2	3	11	4	6	6	5	5	5	1	50
労 働 災 害	1						1	2					4
運 動 競 技	1		1		1		2	2	1	1			9
一 般 負 傷	15	14	10	9	7	15	11	13	8	8	13	5	128
加 害			2						1				3
自 損 行 為				2	1	1		1		1		3	9
急 病	47	56	41	33	44	36	30	46	38	52	48	50	521
そ の 他	7	10	9	11	10	9	10	15	10	9	5	8	113
計	72	81	66	59	75	65	60	85	63	77	71	67	841

時間別出場件数

事故種別 時間	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	計
	災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	
0 ~ 2	1						6		1	20	1	29
2 ~ 4							5			16	2	23
4 ~ 6							8			20	5	33
6 ~ 8	1			7	1		7		2	61	7	86
8 ~ 10				4	1		24			65	8	102
10 ~ 12				4		4	24		1	65	23	121
12 ~ 14				13		2	15	1	2	49	20	102
14 ~ 16				10	1	1	9	2	1	60	14	98
16 ~ 18	2			6	1	1	15		1	42	16	84
18 ~ 20				4		1	6			61	7	79
20 ~ 22				1			7			33	5	46
22 ~ 24				1			2		1	29	5	38
計	4			50	4	9	128	3	9	521	113	841

町内別出場件数

事故種別	町内別										計
	本町 (高根)	上芦別 (啓南)	西芦別 (中の丘) (東瀬城)	瀬城 (緑泉)	野花南 (滝里)	新城 (豊岡) (黄金)	常磐 (福住)	旭 (油谷)	管外		
火災	2			1	1						4
自然災害											
水難事故											
交通事故	9	2	1	22	6	2	6	2			50
労働災害	2	2									4
運動競技	1	7						1			9
一般負傷	76	24	7	1	6	3	3	8			128
加害	2			1							3
自損行為	6	1		2							9
急病	267	134	49	16	10	10	6	29			521
その他	107	1			1			4			113
計	472	171	57	43	24	15	15	44			841

管外搬送（転院・転送） 出場件数

病 院 所 在 地		転 院	転 送	そ の 他	計
1	滝 川 市	45			45
2	砂 川 市	34	2	3	39
3	札 幌 市	2		3	5
4	旭 川 市	2		1	3
5	赤 平 市	4	1	5	10
6	富 良 野 市	1		5	6
7	岩 見 沢 市	2			2
計		90	3	17	110

*その他は直接搬送

年齢区分別搬送人員数調

事故種別	年齢区分					計
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	
火 災				1	1	2
自 然 災 害						
水 難 事 故						
交 通 事 故		1		39	11	51
労 働 災 害				4		4
運 動 競 技			6	3		9
一 般 負 傷		1	3	26	95	125
加 害				3		3
自 損 行 為				2	2	4
急 病		8	7	102	374	491
そ の 他		1	3	25	79	108
計		11	19	205	562	797

新生児 生後28日未満の者
 乳幼児 生後28日以上満7歳未満の者
 少年 満7歳以上満18歳未満の者
 成人 満18歳以上満65歳未満の者
 高齢者 満65歳以上の者

傷病程度別搬送人員

傷病程度	事故種別											計	
	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
死亡					1						11		12
重症				12	1		50		2	136	51		252
中等症	2			10	1	3	29	1	1	160	47		254
軽症				29	1	6	46	2	1	184	10		279
その他													
計	2			51	4	9	125	3	4	491	108		797

搬送人員のうち救急隊員の行った応急処置回数

処置種別	搬送人員	応急処置人員	止血	固定	人工呼吸	心肺蘇生	酸素吸入	除細動	気道確保	特定行為		保温	その他	計	
										気道確保	静脈路確保				
急病	491	491	1	1		20	135	1	22	(9)	2	5	1	1192	1380
交通事故	51	50	4	31		1	17		1				6	118	178
一般負傷	125	124	12	21	1	1	7	1	3			1	16	237	300
その他	130	128	2	11		3	48		3			1	4	314	386
計	797	793	19	64	1	25	207	2	29	(9)	2	7	27	1861	2244

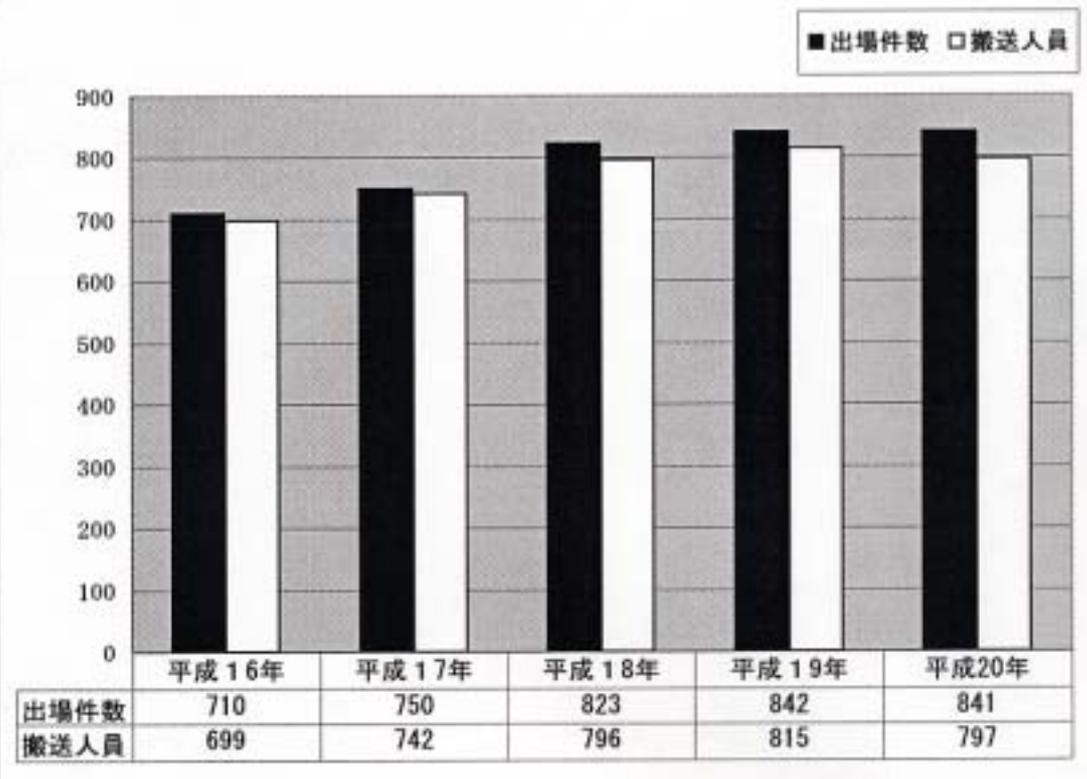
特定行為の気道確保件数は気道確保件数の22件に含む

- ・救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち
 気道確保～ラリングアルマスク等を使用しての気道確保
 除細動～半自動式除細動器による除細動
 静脈路確保～薬剤を用いた静脈路確保のための輸液

収容所要時間

時間別搬送人員 事故種別	覚知から医療機関に収容するのに要した時間別搬送人員					
	10分未満	10分～ 20分未満	20分～ 30分未満	30分～ 60分未満	60分以上	計
急病	11	269	179	30	2	491
交通事故		9	18	18	6	51
一般負傷	7	67	42	8	1	125
その他	2	29	10	84	5	130
計	20	374	249	140	14	797

過去5年間の出場件数及び搬送人員の推移



救助出動及び活動状況

事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
出動件数		10	1		1		2		2	16
活動件数		3	1				2		1	7
救助人員		3					1		1	5
活動台数		6	3				4		3	16
活動人員		22	9				10		11	52

救急講習実施状況

講習種別	講習回数	延べ実施人数
一般講習	9回	190人
普通救命講習	17回	162人

関係法令による処理件数

区分	種 別	処 理 件 数	
		受 理 件 数	備 考
法第 7条	建 築 確 認 申 請	3 2	
	計	3 2	
市 火 災 予 防 条 例	避 難 訓 練 実 施 報 告	8 4	消火、通報訓練含む
	劇場等の裸火使用危険物品持込申請		
	防 火 対 象 物 使 用 開 始 届 出	1 1	
	炉・厨房設備等の設置届出	2	
	変電・燃料電池発電・発電・蓄電池設置届出	3	
	火災とまぎらわしい煙等の届出	7 6	
	煙火打上げ・仕掛け届出	1 5	
	催 物 開 催 届 出	1	
	道 路 工 事 届 出	8	
	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届 出	9	廃止届3件を含む
危 険 物 関 係	指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届 出	6	
	計	2 1 5	
	設 置 許 可 申 請	4	
	変 更 許 可 申 請	2	
	設 置 完 成 検 査 申 請	2	
	変 更 完 成 検 査 申 請	2	
	予 防 規 程 制 定 ・ 変 更 許 可 申 請		
	仮 使 用 承 認 申 請		
	地下貯蔵タンク等の在庫の管理及び危険物の漏えい時の措置に関する計画届出	1	
	廃 止 届 出	5	
	保 安 監 督 者 選 任 (解 任) 届 出	3	
	品 名 、 数 量 変 更 届 出	1	
	施 設 譲 渡 引 渡 届 出	1	
	使 用 休 止 ・ 再 開 届 出	7	
	軽 微 な 変 更 工 事 届 出	3	
設 置 者 住 所 等 の 変 更 届 出	3		
計	3 5	その他1件を含む	
消 防 法 関 係	消 防 用 設 備 等 着 工 届 出	6	
	消 防 用 設 備 等 設 置 届 出	1 9	
	消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告	2 7 2	
	防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届 出	3 8	
	消 防 計 画 作 成 (変 更) 届 出	4 9	
	圧縮アセチレンガス貯蔵・取扱い開始届出	3	
	計	3 8 7	
そ の 他	り 災 証 明 交 付 申 請	1 5	
	道 路 法 第 4 6 条 に 基 づ く 通 知	1 2	
	集 合 煙 突 検 査 申 請		
	集 合 煙 突 検 査 証 明 申 請		
計	2 7		
	合 計	6 9 6	

構造別、工事別、建築同意状況

構造別	耐火構造		月 別												計	通知				
	耐	火	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12						
	耐	火				1	1									2				
	準	耐	火	構	造		1			1		2	2	2		2	1	0		
	そ	の	他			2	2	5		2	4	3	4	1			8	1	5	
工事別	新		築		2	2	4	2	1	4	4	4	1	1		1	4	1	1	
	増		築		1		2		1	2		2		1			5		4	
	改		築																	
	用		途		変		更					1					1			
月 別					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	通知		
用	1	イ	劇場、映画館等																	
		ロ	公会堂、集会場																	
途	2	イ	キャバレー等																	
		ロ	遊技場等																	
		ハ	性風俗店舗等																	
		ニ	カラオケボックス等																	
別	3	イ	待合、料理店等																	
		ロ	飲食店									1						1		
	4		百貨店、店舗等						1		2							3		
		イ	旅館、ホテル等																	
	5	ロ	共同住宅等				1	2	1		1							5		
		イ	病院、診療所等											1					1	
	6	ロ	福祉施設等																	
		ハ	幼稚園等																	
	7		学 校 等																	
			図書館、博物館等																	
	9	イ	サウナ浴場等																	
		ロ	イ以外の浴場																	
	10		車両の停車場等																	
			神社、寺院等																	
	12	イ	工場、作業場										1						1	
		ロ	映画スタジオ等																	
13	イ	車庫、駐車場等			1						1				1			3		
	ロ	飛行機の格納庫等																		
14		倉 庫																		
		その他の事業所											1					1		
16	イ	複 合 用 途					1											1		
	ロ	イ以外の複合用途																		
		専 用 住 宅			2	1	2		2	2	2	3	1				1	1	4	
		そ の 他					1				1	1		1			3		1	
		計			3	2	6	2	2	6	5	6	1	2			2	0	1	5

防火対象物地区別及び項別調

項 別		町 内 別										計	
		本 町	上 芦 別 町	西 芦 別 町	頼 城 町	常 磐 町	新 城 町	野 花 南 町	旭 ・ 油 谷	黄 金 町	滝 里 町		
1	イ	劇場、映画館等		2									2
	ロ	公会堂、集会場	5	4	1	1	1	1	1		1		15
2	イ	キャバレー等											
	ロ	遊技場等	4	1							1		6
	ハ	性風俗店舗等											
	ニ	カラオケボックス等											
3	イ	待合、料理店等											
	ロ	飲食店	18	2					2	1			23
4		百貨店、店舗等	35	5	1								41
5	イ	旅館、ホテル等	7	2					1	3		1	14
	ロ	共同住宅等	184	27	36	18				2			267
6	イ	病院、診療所等	12	1						7			20
	ロ	福祉施設等	4	2				1		3			10
	ハ	幼稚園等	1										1
7		学校等	11	8	2	4	2		2				29
8		図書館、博物館等	2						4		1	1	8
9	イ	サウナ浴場等											
	ロ	イ以外の浴場	1		1	1				2			5
10		車両の停車場等	1										1
11		神社、寺院等	17	7	2	2	2	2	1	1			34
12	イ	工場、作業場	30	37	4		2	1	2		3		79
	ロ	映画スタジオ等											
13	イ	車庫、駐車場等	12	5						2			19
	ロ	飛行機の格納庫等								1			1
14		倉庫	32	21	2		5	4	3	4	12		83
15		その他の事業所	36	8	1	2	3	3	1	4	22	1	81
16	イ	複合用途	54				1			2	1		58
	ロ	イ以外の複合用途	44	10	1	1	1						57
17		文化財					1						1
計			510	142	51	29	18	16	11	33	42	3	855

防火対象物査察実施状況

項 別		区 分	査 対 察 象 実 物 施 数	指 導 事 項			
				防 理 火 業 管 務	消 設 防 備 用 等	防 物 炎 品	点 果 検 報 結 告
1	イ	劇場、映画館等				1	
	ロ	公会堂、集会場	6	6			
2	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場等	3	3			1
	ハ	性風俗店舗等					
	ニ	カラオケボックス等					
3	イ	待合、料理店等					
	ロ	飲食店	2	2	2		2
4		百貨店、店舗等	10	6	10	1	6
5	イ	旅館、ホテル等					
	ロ	寄宿舎、共同住宅					
6	イ	病院、診療所等	2				
	ロ	福祉施設等	5				
	ハ	幼稚園等					
7		学 校 等	8	2	4		
8		図書館、博物館等	4		2		
9	イ	サウナ浴場等					
	ロ	イ以外の浴場					
10		車両の停車場等					
11		神社、寺院等	1	1			
12	イ	工場、作業場					
	ロ	映画スタジオ等					
13	イ	車庫、駐車場等					
	ロ	飛行機の格納庫等					
14		倉 庫					
15		その他の事業所	6	1	4		
16	イ	複 合 用 途	8	5	2	1	3
	ロ	イ以外の複合用途	5	2	2		1
17		文 化 財					
合 計			60	28	26	3	13

防火対象物定期点検報告実施状況

項 別		区 分	該当防火対象物数	防火対象物 点検報告済数	防火対象物 特例認定済数	防火対象物 特例認定済 一部点検済又は	防火対象物 未実施数
1	イ	劇場、映画館等					
	ロ	公会堂、集会場	11	8	3		
2	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場等	2	1			1
	ハ	性風俗店舗等					
	ニ	カラオケボックス等					
3	イ	待合、料理店等					
	ロ	飲食店					
4		百貨店、店舗等	2	1			1
5	イ	旅館、ホテル等					
6	イ	病院、診療所等	1	1			
	ロ	福祉施設等					
	ハ	幼稚園等					
9	イ	サウナ浴場等					
16	イ	複合用途	10	6	1		3
16の2		地下街					
合 計			26	17	4		5

予防査察実施指導状況(一般対象物)

査 察 区 分		緊急通報システム 設置世帯	個人住宅	合 計	
査察総件数（拒否含む）		75	964	1,039	
指導別		4	12	16	
火を使用する設備・器具の位置・構造	移動式ストーブ その他の器具	位置構造			
		取扱方法			
		可燃物接近			
	ストーブ関係	位置構造			
		底面通気			
		燃料容器配管等		3	3
		可燃物接近	3	2	5
		取灰処理			
	煙突関係	破損腐食等			
		取付支柱等			
		壁・天井接近		1	1
		貫通部等		1	1
		可燃物接近		1	1
	調理用器具	位置構造			
		取扱方法			
		燃料容器配管等			
		可燃物接近	1	3	4
	給湯設備 が備ま	位置構造			
		取扱方法			
可燃物接近					
L P G	取扱方法		1	1	
	その他				
電 気	配線				
	器具				
少量危険物	位置構造				
	貯蔵取扱				
そ の 他					

危険物製造所等別貯蔵・取扱数量

区 分	種 別	設 置 数	貯 蔵 ・ 取 扱 数 量 (kℓ)				
			第 4 類				
			第一石油類	第二石油類	第三石油類	第四石油類	計
屋 内 貯 蔵 所	9	3.1	12	8	47.1	70.2	
屋 外 貯 蔵 所	2		8	24	4	36	
屋内タンク貯蔵所	1		1.9			1.9	
屋外タンク貯蔵所	9		159	20		179	
地下タンク貯蔵所	61		816.6	267.4		1084	
移動タンク貯蔵所	41		132.2			132.2	
給 油 取 扱 所	21	301.9	472.6	2		776.5	
一 般 取 扱 所	16		256.3	16.2		272.5	
計	160	305	1858.6	337.6	51.1	2552.3	

地区別危険物製造所等設置状況

区 分	設 置 数	地区別											
		本 町	上 芦 別 町	西 芦 別 町	常 磐 町	高 根 町	新 城 町	野 花 南 町	滝 里 町	幌 内	旭 町	旭 町 油 谷	芦 別
屋 内 貯 蔵 所	9	2	5	1									1
屋 外 貯 蔵 所	2		2										
屋内タンク貯蔵所	1		1										
屋外タンク貯蔵所	9	1	7	1									
地下タンク貯蔵所	61	31	12	3	1		1	1	1		7	4	
移動タンク貯蔵所	41	30	9				1			1			
給 油 取 扱 所	21	10	7			1				1			2
一 般 取 扱 所	16	10	5				1						
計	160	84	48	5	1	1	3	1	1	2	7	4	3

危険物製造所等倍数調

区分 \ 倍数	5倍以下	5倍を超え	10倍を超え	50倍を超え	100倍を超え	150倍を 超えるもの	計
		10倍以下	50倍以下	100倍以下	150倍以下		
屋内貯蔵所	8		1				9
屋外貯蔵所		1	1				2
屋内タンク 貯蔵所	1						1
屋外タンク 貯蔵所	2		7				9
地下タンク 貯蔵所	24	19	14	4			61
移動タンク 貯蔵所	41						41
給油取扱所	2	3	6	3	3	4	21
一般取扱所	4	3	9				16
計	82	26	38	7	3	4	160

甲種防火管理講習修了者数調

年 度	修了者数	年 度	修了者数
昭和36年度～ 昭和49年度	1,267	昭和60年度	74
昭和50年度	78	昭和62年度	38
昭和51年度	41	昭和63年度	34
昭和52年度	49	平成2年度	63
昭和53年度	43	平成4年度	47
昭和54年度	46	平成7年度	71
昭和55年度	33	平成12年度	65
昭和56年度	42	平成15年度	17
昭和58年度	38	計	2,046

防火講習等実施状況

月日	実施内容	対象者	参加人員
2月26日	防火講習・ビデオ	福住婦人防火クラブ	8
3月5日	防火講習・ビデオ	常磐婦人防火クラブ	19
3月12日	防火講習・ビデオ	野花南婦人防火クラブ	12
7月5日	防火講習・ビデオ	芦別鉱業株式会社	35
9月21日	防火講習・ビデオ	社会福祉法人 愛和福社会 星の広場	43
10月1日	消火訓練・避難訓練・通報訓練	芦別市役所	140
10月17日	防火講習・ビデオ	芦別市婦人団体 連絡協議会	78
11月4日	消火訓練・避難訓練・通報訓練	市立芦別病院	30

消防協力団体

芦別市危険物安全協会
芦別市防火管理者協会

芦別みどり幼稚園幼年消防クラブ
福住婦人防火クラブ
常磐婦人防火クラブ
野花南婦人防火クラブ

各町内会防火部等

芦別連合消防後援会	第1分団消防後援会	第1分団
	第2分団消防後援会	第2分団
	新城町内会(消防後援会)	第3分団
	野花南消防後援委員会	第4分団
	上芦別町消防後援会	第5分団
	西芦別消防後援会	第6分団
	頼城消防後援会	第7分団

消防協力団体状況

団 体 名	設 立 年 月 日	会 員 数
芦別市危険物安全協会	S. 4 0 . 6 . 3	5 8 名
芦別市防火管理者協会	S. 4 2 . 1 1 . 2 7	9 8 名

婦人防火クラブ及び幼年消防クラブ状況

団 体 名	設 立 年 月 日	会 員 数
芦別みどり幼稚園幼年消防クラブ	H. 3 . 9 . 1	1 4 0 名
福住婦人防火クラブ	H. 5 . 3 . 2	8 名
常磐婦人防火クラブ	H. 5 . 3 . 1 1	3 3 名
野花南婦人防火クラブ	H. 8 . 7 . 1	1 5 6 名

危険物安全協会・防火管理者協会活動状況

	会 員 及 び 予 算	活 動 状 況
危 険 物 安 全 協 会	事 業 所 4 3 名	研修活動 ・視察、法令研修 火災予防運動 ・消防写真新聞の購入、配布 ・防火広報ティッシュの配布 その他 ・会報発行
	個 人 1 5 名	
	合 計 5 8 名	
	予 算 6 6 万円	
防 火 管 理 者 協 会	防 管 部 8 9 名	研修活動 ・視察、法令研修 火災予防運動 ・消防写真新聞の購入、配布 ・防火広報マグネットシート活用 ・防火広報ティッシュの配布 その他 ・防火ビデオ購入、貸出し ・会報発行
	設 備 士 部 9 名	
	合 計 9 8 名	
	予 算 8 2 万円	

平成 2 0 年版 消防年報

平成 2 1 年 3 月

芦別市消防本部・署

〒075 - 0011

北海道芦別市北 1 条東 1 丁目 3 番地

TEL 0124(22)3106

FAX 0124(23)1960